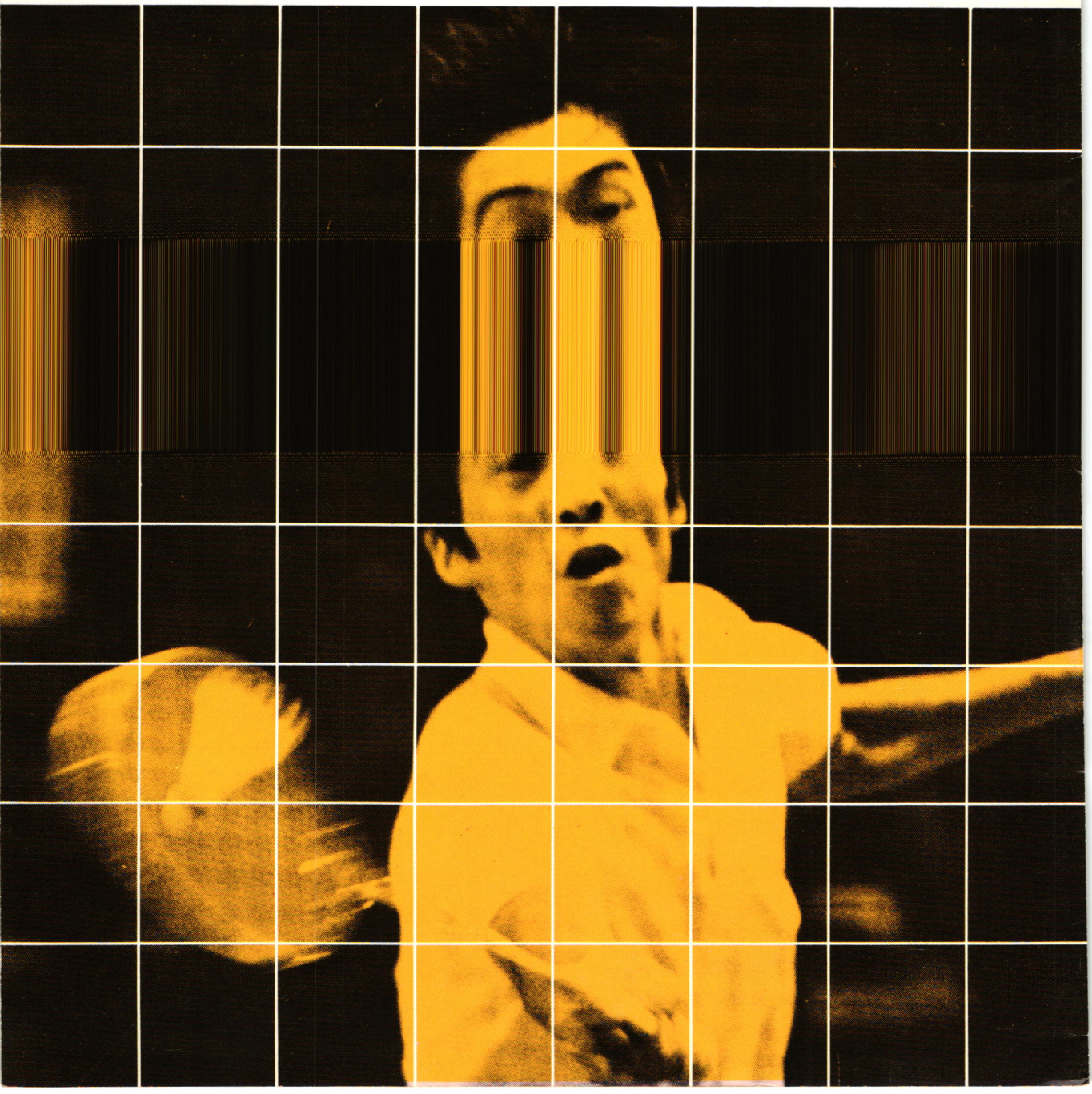
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年1月15日発行（毎月1回15日発行第10巻第1号）

バドミントン1

日本バドミントン協会　The Badminton World No.99 1978



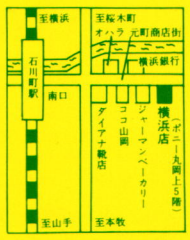
ラケットショップ元町

●渋谷店



渋谷区渋谷1−25−6 〒150
☎03(400)7390

●横浜店



横浜市中区元町5−203 〒231
元町スカイビル5階
☎045(651)2020

あなたの
あだなは
闘将ボーイ!?



BADMINTON WORLD

―― 昭和52年度全日本総合選手権大会・個人戦 ――

銭谷　Ｖ２〝実力の証明〟……2
男子シングルス

大器開花、近藤初優勝……4
女子シングルス

飯野・土田、２年ぶりの美酒……6
男子ダブルス

初栄冠、徳田・高田の頭上へ……8
女子ダブルス

日下・牛田、ニッコリ初優勝……10
混合ダブルス

われらのクラブ⑧ ―― 敦賀バードクラブ・柿本みつる
はじめはゲーム中心、今ではトレーニングが主体です？……12

新・ガッツ小島の体当り実戦教室⑨ ―― 小島一平
夢にまでみた全英選手権に出場……28

実力世界一級の強豪ぞろい
デルフス、コーペンら12選手来日……30

◎ヨーロッパ情報（山本洋彦）／33
◎海外トピックス（友枝康子）／34
◎バインダーのお知らせ／38
◎編集室から／40

☆グラフ――オール・ジャパン'77から

◇表紙デザイン・構成＝野間デザイン室／表紙・本文写真＝赤星三樹（使用カメラ・レンズ、アサヒペンタックスMX SMC-P-M 50/1.4

◇今月の表紙＝オールジャパン'77で実力をみせ男子単に優勝した**銭谷欽治選手**（河崎ラケット）

"実力の証明"

男子 シングルス

昭和52年度のチャンピオンを決定するビッグエベント、全日本総合バドミントン選手権大会、通称〝オール・ジャパン〟が、年の瀬も大詰めに押し迫った12月14日から5日間、東京・代々木第2体育館、目黒区体育館、文京区体育館で行なわれ、連日にわたって熱戦が繰り広げられた。

男子は予想通り、銭谷欽治(河崎ラケット)がシングルスを、飯野佳孝(ヨネックス)・土田証雄(電電東京)組がダブルスを制し順当な結果に終ったが、女子シングルスで不動の本命とみられていた湯木博恵(河崎ラケット)が、若さの近藤小織(日女体大)に屈し6連勝を逸し、ダブルスでも徳田敦子・高田幹子(サントリー)組が初優勝を飾り、新旧交代期を思わせた。

混合ダブルスは、日下昇・牛田真由美(百十四銀行)組が、実業団に次いで2つ目のビッグタイトルを手中におさめた。

◆男子シングルス

▽準々決勝

銭谷欽治(河崎) 2―0 仲尾信一(法大)

小島一平(RS元町) 2―0 飯野佳孝(ヨネックス)

谷口 寛(トヨタ自工) 2―0 栂野尾昌一(ヨネックス)

土田証雄(電電東京) 2―1 笠井彰(関東自工)

▽準決勝

銭谷 2(15―11, 15―8) 0 小島

土田 2(15―9, 15―11) 0 谷口

▽決勝

銭谷 2(15―12, 15―4) 0 土田

(銭谷は2年連続3度目)

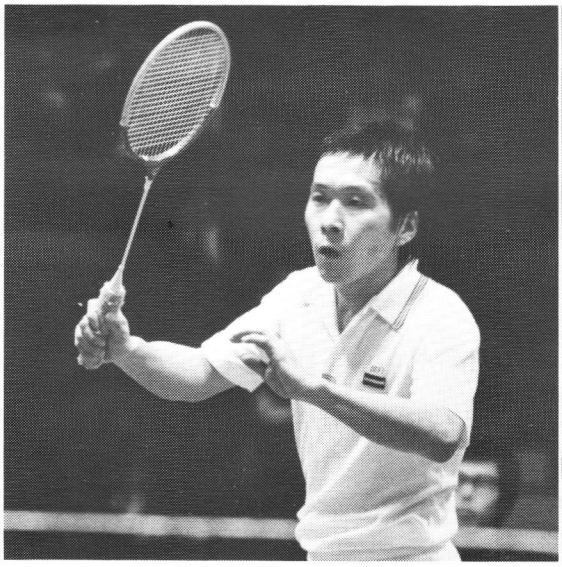
まだ辞めないで小島さん

ベスト4へ残った銭谷、小島、谷口、土田は、昨年とまったく同じ顔ぶれ。

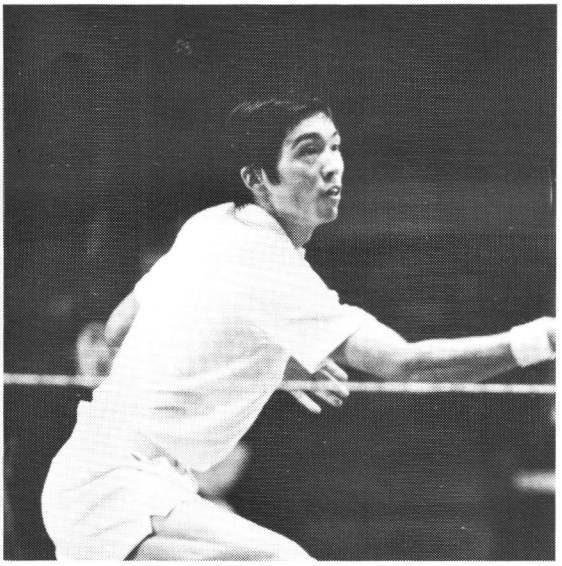
V2を目指す銭谷は、巻き返しを計る小島と、苦戦の連続だった土田は、栂野尾を下して気力に充実して好調の谷口と、それぞれ準決勝で激突した。

銭谷対小島は、スタートから快調にとばす銭谷が、まだ目の醒めきらないような小島に、スマッシュの連打を浴びせ8―0と大きくリードを奪う。

しかし、これ以上リードを広げられてはと、小島も執拗に粘りを見せ銭谷のスマッシュミスを誘う。ネット前の攻防も、小島は速い動きで競り勝ち、つい



〝まだまだやれる〟小島



ついに小島を倒した銭谷

銭谷 V2

に8オールへこぎつけ、試合はにわかに白熱化。

銭谷も必死にスマッシュを連打して一旦は10—8と抜け出したが、またも小島の正確なレシーブに手を焼き、スマッシュミスが重なり、10—11とリードを許す。ここでややスピードの鈍った小島に対し、銭谷は速攻の手を緩めず、スマッシュに次ぐネット前のラッシングで、確実にチャンスをモノにして第1ゲームを先取した。

第2ゲームに入っても銭谷の攻撃は続き、小島のレシーブをかいくぐるように強打を決め、終始リードを保って小島からオールジャパン初白星を挙げた。

小島も全盛期のパワーとスピードこそ見られなかったが、レシーブにますます円熟味を加え、シャトルにくらいつく執念は少しも衰えず、伸び盛りの飯野を降しての準決勝進出は、若手選手にも観る者にも、無言にして語りかけるような風格が感じられた。

殴り込む土田

高い打点からの強打を売り物に対戦した土田対谷口は、まず土田が一球目から殴りつけるように積極的なスマッシュ攻撃に出て、機先を制した。

第1ゲーム、谷口の立ち上がりのコントロールにミスが目立ち、5—0と土田がリードしたが、土田にもドロップミスが重なりたちまち6—4。その後、土田はサービス権を与えても得点を許さず、着々とポイントして差を広げる。一方上がればスマッシュという土田の強打に押されていた谷口は6—14から連続して3ポイントを返したが、スピードに慣れる前に1ゲームを落した格好。

第2ゲームになっても、土田は果敢にスマッシュ攻撃の一点張り。強烈なスマッシュを谷口のボディへ集めて3—0と好調なスタート。しかし、谷口もようやく球筋に慣れてきたのか、スマッシュを拾い始め、丁寧に球をつないでチャンスを作る。土田が打って谷口が拾い反撃するパターンが続いて、6—3、9—6、11—7と土田がわずかにリードしたまま終盤の山場を迎える。谷口はここからよく頑張って、土田のヘアピンミスなどに乗じて10—11としたが、手痛いサービスミスを出して、せっかく盛り上がった追い上げムードに、自ら水を差してしまった。

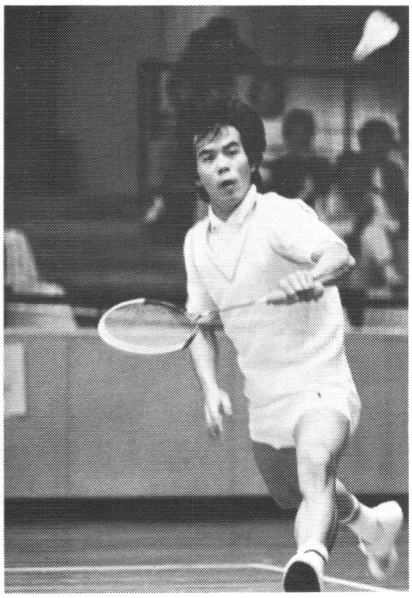
銭谷、新妻へプレゼント

過去に何度となくビッグタイトルを阻まれてきた土田は、持ち前の強打で銭谷に挑んだが、〝三強時代〟に反発するように、銭谷のタイトルへの意欲は、これを静かに大きく上回っていた。

試合開始早々、土田は例によって大きなバックスイングから、殴り込みをかけるようにスマッシュを連発。ネット前の動きも上々で先手先手と銭谷を苦しめる。銭谷はいつになく慎重なスタートを切って、がっちりと受けて構える体勢。一進一退の緊迫した展開から、まず土田が小気味よいスマッシュで11—8とリードすれば、銭谷は盤石のレシーブで一歩も引かず、たちまち11オール。この最大のヤマ場で銭谷の丁寧さと、土田の荒さがはっきり表われてくる。正確に四隅に球を散らしチャンスを待つ銭谷に対し、辛抱し切れない格好で苦しまぎれに放つ土田のショットが、無残にネットにさえぎられる。押し気味に展開したゲームを、最後の12オールから若さを暴露。

1ゲームを失って、緊張した糸が切れたように、土田に集中力が見られない。冷静な銭谷は、2オールから一気にかさにかかって攻め込み、6—2。土田もふんばって4度サービス権を奪い返すがポイントにならず、またまた離される一方。得意のヘアピンにネットミスが重なり、逆転の足掛かりをつかむことができなかった。

銭谷は要所要所で放つ以外、スマッシュの多用がなくなり、派手さこそ影を潜めたが、レシーブ力が一段と充実し、安定感はピカ一であった。



土田にあと一歩と迫った笠井

近藤初優勝!!

女子 シングルス

◆女子シングルス

▽準々決勝

湯木博恵（河崎） 2—0 米倉よし子（日女体大）

関根和子（日体大） 2—1 高田幹子（サントリー）

池田美加（河崎） 2—0 西尾真理子（サントリー）

近藤小織（日女体大） 2—1 植野恵美子（四条畷短）

▽準決勝

湯木 2（11—8, 11—5） 0 関根（12—10, 11—1）

近藤 2（9—2, 棄権） 0 池田

▽決勝

近藤 2（11—8, 11—5） 0 湯木

（近藤は初優勝）

湯木、関根にも苦戦

史上初の6連覇を賭けて挑んだ湯木だったが、必ずしも万全の調子ではなかったようだ。

準決勝の対関根戦の第1ゲームの前半に、サービスミスを4本して湯木らしからぬスタート。それでも1—8から、持ち前のプレースメントで徐々にばん回。奮闘する関根のアセリを待ってセッティングに持ち込み、辛くも貫禄で押し切った。関根も持てる力を十分に出し切って、1度はゲームポイントを取ったが、目に見えぬ湯木の威圧感に屈した。

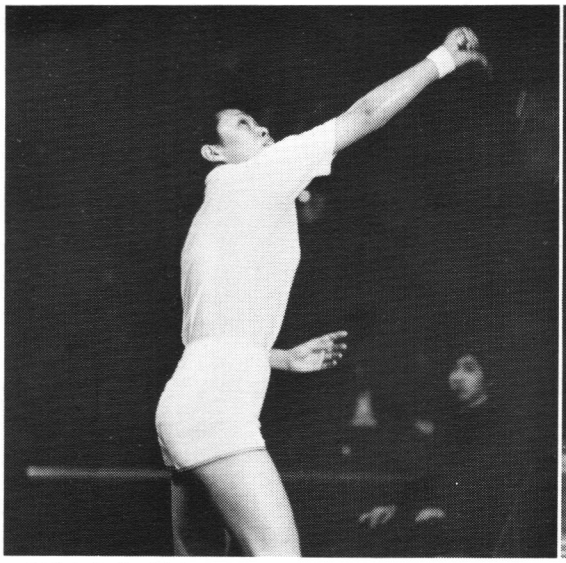
第2ゲームになると、スロースターターといわれる湯木も、ようやくエンジンがかかり、第1ゲーム逆転されたショックが尾を引く関根を一蹴。順当に決勝に駒を進めた。

岡山のおばあちゃんに!!

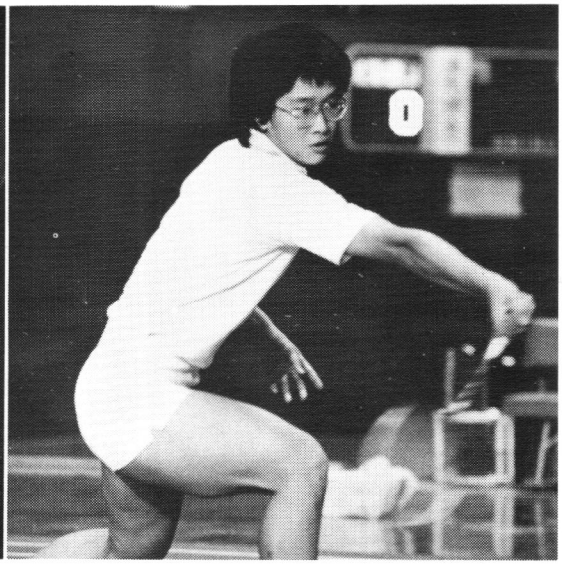
これに対して近藤は、池田が途中で膝を捻って棄権したため体力を温存して湯木との決戦を迎えた。

決勝の立ち上がり、やはり湯木はスタートが悪い。サービスミスを繰り返してポイントにならず、クリアー、カットもサイドラインを割る凡ミスを重ねる。近藤はドリブンクリアー、スマッシュを多用するが、これも得点とならず、0オールから、3—2のこう着状態から抜け出すまでに、17回のサービス権の移動が続く。

しかし、ここから若い近藤は、体力にモノをいわせてスマッシュ攻撃にすべてを託す作戦。一気に5ポイントを連取して、まだダイナミックな動きは疲れを知らない。湯木も奮起して6—8と追い上げるが、近藤は依然



V6ならず　湯木



スピードとパワーの勝利　近藤

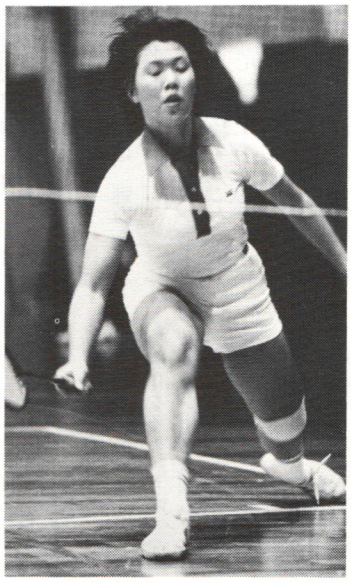
大器開花、

スマッシュを主体にして強気な攻撃を繰り返す。近藤9―8の正念場を、これも豪快なジャンプスマッシュを叩きつけて、力で第1ゲームをもぎ取る。

第2ゲームになっても、近藤の男子顔負けのパワーとスタミナは、まったく疲れを知らない。スマッシュで2―0とした後の長いラリーにも、湯木のカットがしびれを切らしたようにサイドサインを割る。このあたりでペースは完全に近藤のもの。重い男性的なスマッシュを随所に繰り出して6―0と引き離す。湯木も懸命に食い下がろうとするが、4―6とするのが精一杯。押し気味のラリーで主導権を握る近藤のヘアピンは鋭く、バックハンドから、フォアハンドから高い打点からの絶妙なネットプレーで湯木を圧倒。マッチポイントからの角度あるスマッシュに、ついに湯木は脱帽。新女王〝近藤小織〟の見事な誕生だった。

近藤は、さきのインカレに次いで2つ目のビッグタイトル。学生のチャンピオンは、椙野尾悦子（旧姓竹中、当時新潟青陵短大）以来7年ぶりの偉業である。

試合後、東京12チャンネルのインタビュアーに「勝とうという気持を意識の内に入れ、シャトルを外へ出さないよう」心がけたという。ユーモアたっぷりの大きな声で応えて、さらに屈託のない明かるい声で「岡山のおばあちゃんに知らせたい」と、何年か前に流行した、プロボクサーと同じセリフで会場を爆笑の渦に巻き込んでいた。



近藤とファイナル・ゲームの植野



シングルスでは低調だった徳田



思わずバンザイの近藤

2年ぶりの美酒

男子ダブルス

◆男子ダブルス

▽準々決勝

池田(電電東京)・梅野尾(ヨネックス) 2―0 高橋・山本(日大)

尾崎(電電東京)・辻(ヨネックス) 2―0 米沢・米原(高岡市役所)

中井・銭谷(河崎) 2―0 今泉・牧野(高岡市役所)

土田(電電東京)・飯野(ヨネックス) 2―1 田所(電電東京)・大場(ヨネックス)

▽準決勝

池田 梅野尾 2 (18―13 15―12) 0 尾崎 辻

土田 飯野 2 (18―14 15―12) 0 中井 銭谷

▽決勝

土田 飯野 2 (15―11 15―2) 0 池田 梅野尾

(土田・飯野組は2年ぶり2度目)

尾崎組、終盤に力尽きる

池田・梅野尾組、土田・飯野組に対する初出場コンビの対戦となった準決勝は、魅力あふれる好カードとなった。

尾崎・辻組は今大会が初のコンビ。しかし臆することなく、思い切りのよいプレーで堂々とした初陣ぶりだった。

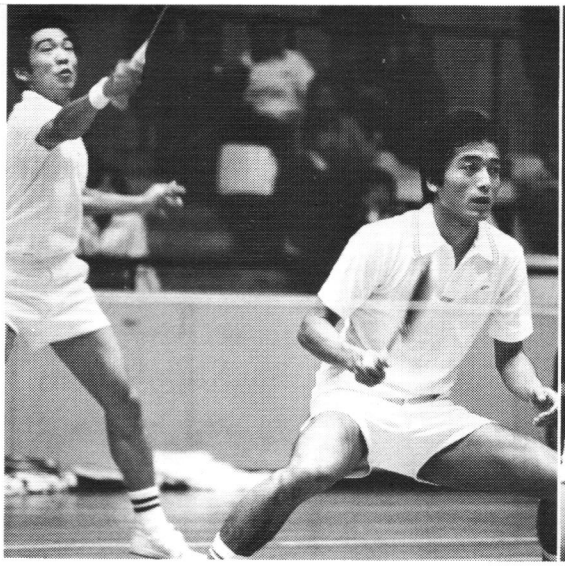
第1ゲーム。スタートから池田・梅野尾組は、トップアンドバックの陣型を敷いて攻撃に出るが、3―0からスマッシュ、プッシュにミスが出て、3―5と一時はリードを許す。しかし尾崎・辻組も、中盤の競り合いの中でドライブミスが4回5回と度重なり、じりじり7―12、と主導権を握られる。が、このあたりから凡ミスの少なくなった尾崎・辻組は、前によく出て高い位置からプッシュを決め、池田・梅野尾組の乱れをついてスマッシュを叩き込み、逆に13―12とリードを奪った。しかし、池田・梅野尾組は、セカンドサービスからセッティングに持ち込み、そのまま一気に逃げ切り、歴戦の試合巧者ぶりを発揮した。

第2ゲームに入ると、すっかり余裕を取り戻した池田・梅野尾組は、相変らず梅野尾が後で打って池田が前で叩くというパターンで着実に得点。4―0、8―2から、一時は9―8としたが、また12―8、14―10と常にマイペースの試合運びで、点差以上の安定味を感じさせた。

尾崎・辻組も、強打を打てる体勢になると持ち味を発揮するが、レシーブに回るともろく、攻撃に結び付けるまでの小さなテクニックにミスが目立った。

完成間近か、中井・銭谷

実業団、社会人と経験を積む



今後がますます楽しみ　銭谷・中井



思い切りよいプレーをみせた尾崎・辻

飯野・土田、

たびに、徐々にコンビネーションが噛み合ってきた期待の大型ダブルス、銭谷・中井組が、初めて土田・飯野組と対戦。

立ち上がりから銭谷・中井組は好調にプッシュ、スマッシュを決めて5—2とリード。すかさず土田・飯野組も、速いネット前のタッチで挽回。銭谷・中井組のプッシュミスも手伝って9—5と逆転。銭谷の強打がここで爆発してたちまち9オール。中井も勘のいい動きでネット前へ前進して効果的なストップを見せる。11—13とリードされた土田・飯野組は、懸命にスマッシュ攻撃をかけてセッティングに持ち込み、スマッシュに次ぐスマッシュで押し切って第1ゲームを奪取。

第2ゲーム、土田・飯野組はスマッシュに冴えを見せ、銭谷・中井組のレシーブミスを誘発して4—3、7—4、11—6と余裕さえ出てきたように思われたが、中井の小技と銭谷の強打も黙ってはいない。じりじりと差を詰めて10—11まで追い上げると、ここで銭谷が変則的なサービスを繰り出し見せ場を作った。コート中央からの常識的な型を破り、コートサイドぎりぎりからクロス気味にサービスを送り込み、これがものの見事に成功。土田・飯野組がサービスレシーブに2本失敗して12—11と、ムードが一変した。

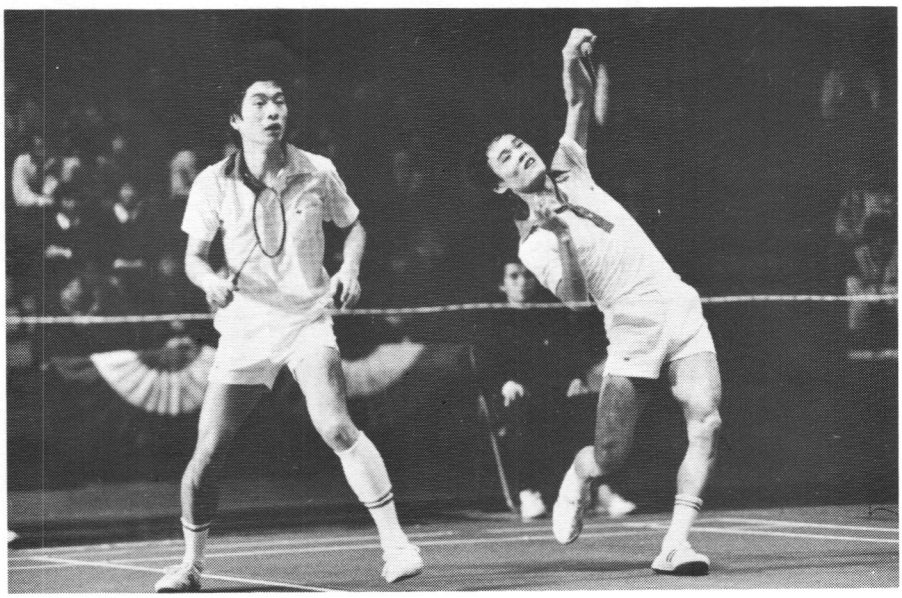
しかし、ここでまた飯野が役者ぶりを発揮。銭谷のお株を奪うように、同じような位置からのサービスの構え。観客は大喜びで、場内は笑いの渦。そしてこれがまた見事に、中井のミスを誘って14—12とマッチポイントを握り、変りかけた流れを引き戻して、大熱戦に終止符を打った。

池田・栂野尾、拾えず

今年1年著しい成長を示す土田・飯野組に対し、先輩の意地を見せる池田・栂野尾組がどんなプレースメントでこれをかわすか興味が持たれたが、パワーで押しまくる土田・飯野組の若さは、圧倒的な強さで、今や完全にダブルスの第一人者にのし上がった。

第1ゲーム、スタートから土田・飯野組は速い攻撃に出る。ネット前でのスマッシュミスが連続するが、スピード豊かに強気な攻めに徹底。6—3、10—4、13—8と完全に主導権を握って叩きつける。池田・栂野尾組も必死にレシーブするが、次第に守る位置が後へ後へ下っていく。池田得意の回転レシーブ、股下打ちもファインプレーに結びつかず、パワーの差が歴然。

2ゲーム目に入っても、土田・飯野組は気迫をみなぎらせてスマッシュのオンパレード。あっという間に9—0とリード。スマッシュとプッシュのミスで2点を与えたが、それ以後は完璧な出来ばえで池田・栂野尾組をシャットアウト。まるで昨年の苦い経験を思い出しているかのように、最後まで集中力を維持してとどめを刺すことも忘れなかった。



決勝では圧倒的な強さをみせた飯野・土田

高田の頭上へ

女子 ダブルス

◆女子ダブルス

▽準々決勝

谷・秋本(幸)(サントリー)
2―0 石田・米倉(日女体大)

湯木(河崎)・近藤(日女体)
2―0 堀川(青陵高教)・陣内(ヨネックス)

徳田・高田(サントリー)
2―0 千葉(河崎)・渡辺(日女体大)

田所・石原(琴平電鉄) 2―1 西尾・秋本(八)(サントリー)

▽準決勝

湯木
近藤 2 (15―8, 15―4) 0 谷
秋本幸

徳田
高田 2 (15―6, 15―3) 0 田所
石原

▽決勝

徳田
高田 2 (15―5, 15―10) 0 湯木
近藤
(徳田・高田組は初優勝)

谷組、田所組健闘空し

ユ杯韓国戦以来、2度目のコンビとなる湯木・近藤組は、湯木が前衛に出て近藤をリード。近藤もこれによく応えて、強打を連発した。

1ゲーム目前半、湯木・近藤とも凡ミスを重ねて1―4とリードを許したが、近藤のスマッシュで6―4と逆転すると、あとは湯木・近藤組のペース。6―5から6ポイントを連取して一挙に大勢を決める構え。ゲームポイントを取られてから、谷・秋本(幸)組も粘りを見せるが、やや遅すぎる感。

第2ゲームに入っても、湯木・近藤組は快調。ミスがほとんど見られず、終始攻撃に徹して難なく決勝進出を決めた。

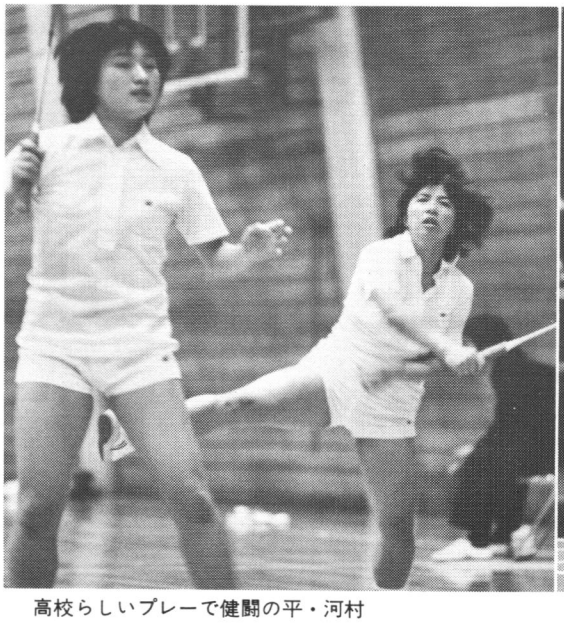
徳田・高田組も、決め手に欠ける田所・石原組の攻撃をじっくり拾って、よく辛抱。3オール、4オール、5オールと続いた競り合いから、満を持していたように連続ポイントを重ね、長いラリーにも打ち勝って、ユ杯代表の実力を示した。

コンビに乱れ、湯木・近藤

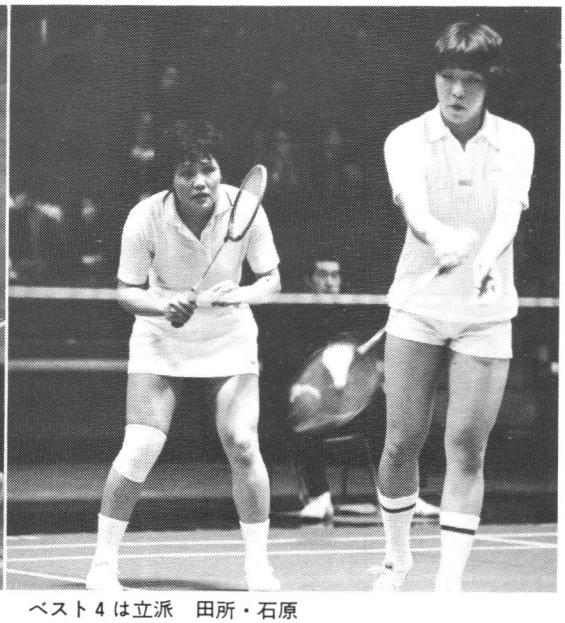
実業団、社会人のタイトルとともに三冠を狙う徳田・高田組に、久し振りにダブルスにもと欲を出す湯木・近藤組の決勝戦は、初の顔合わせということもあって場内の関心を集めた。

しかし、いざフタを開けてみると、気力充実の徳田・高田組がコンビネーションの良さを発揮して、攻撃に守備に、コート狭しと走り回り、初のオールジャパンのタイトルを手にした。

試合が開始されると、徳田・高田組はレシーブミス、プッシュミスを重ねて0―4とリードを与えたが、速い動きから攻撃



高校らしいプレーで健闘の平・河村



ベスト4は立派 田所・石原

初栄冠、徳田・

を仕掛け、湯木・近藤組のコンビの隙をついて、ボディアタックから活路を見出して振り回し、一挙に11ポイントを連取。動きも、ストロークも完全に湯木・近藤組を上回ってミスを誘発して1ゲームを奪って幸先よいスタートを切る。

第2ゲームに入ると、近藤が当りを取り戻し、スマッシュを決めて先手を取る。しかし、クリアー、カット、ドライブに正確さを欠く近藤は、何でもない凡ミスを繰り返して波に乗れない。スマッシュで押し込んでも、決定打を導く前に、徳田・高田組の切り返しを受け、なかなかリードを奪うことができない。6―4から6オールへ、11―7から12オールへ、よく追いかけるが、大事な場面でクリアーミス、レシーブミスが出て、コンビの浅いダブルスの、シャトルに対する散慢さが感じられた。

近藤はシングルスではミスが少なく持ち前の強打がうまく生きていたが、ダブルスでは決定打を奪えず、苦しまぎれに打つクリアー、カットにミスが多く、徳田・高田組につけ入ることができなかった。



乱れを突かれた湯木・近藤



安定したコンビの徳田・高田

ニッコリ初優勝

混合ダブルス

◆**混合ダブルス**

今井・池田（河崎）　2―0
須藤（浪岡教）・松田（黒石高教）

田所・今田（電電東京）　2―1
関（早大体育局）・石田（アサヒブレッド）

中井・千葉（河崎）　2―1
谷口・布上（トヨタ自工）

日下・牛田（百十四銀行）
2―0　市村（諸江製作所）
・田所（琴平電鉄）

▽**準決勝**

今井						9	15	
池田	2					15	4	1
						15	2	田所
						1		今田
日下		15	15	15				
牛田	2	15	12	15				
		15	15	12				
		10						中井
								千葉

▽**決勝**

日下						15	3	
牛田	2					15	4	0
								今井
								池田

（日下・牛田組は初優勝）

2人を相手、奮闘〝中井〟

今井・池田組、田所・今田組ともに攻撃のパターンが摑めずに苦しみ、お互いに凡ミスを繰り返して相手に大量得点を与えて、盛り上がりを欠く準決勝となった。

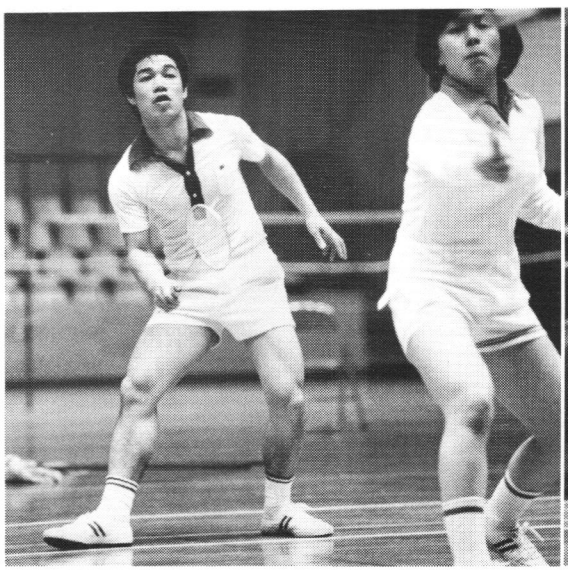
ファイナルゲームになっても田所・今田組は調子が出ず凡ミスを繰り返すだけ。今井・池田組は落ち着きを取り戻して、丁寧な配球でチャンスを与えず、一気に7―0、11―0、14―0と得点を重ねて決勝進出を果たした。

今井の機先を制すネット前へのダッシュが、本来のローテーションを円滑に回転させる、潤滑油として大きな役割を果たしていた。

今年1年、常に安定した力を発揮した日下・牛田組対、フレッシュコンビ、中井・千葉組の対戦は、ミックス特有のトップアンドバック対ローテーションの素晴しい試合を展開した。

勘の鋭い独特の前衛で定評のある牛田と、しぶといレシーブ、安定した冷静なプレースメントを誇る日下のコンビに対し、中井・千葉組は、中井の大胆なリードオフマンぶりで対抗。まさに日下・牛田組対中井といった様相を呈した。

特に第2ゲーム後半は中井の独壇場。7―12の劣勢を、ネット前への素早いヨミで逆転。ファイナルゲームになっても、前衛に出て勝負を決めようと頑張ったが、終盤になって凡ミスが目立ち、勢いに乗ることができなかった。安定したトップアンドバックの陣型に比べると、コンビネーションに乱れが生じる場面が数多く見られた。



ベスト4へくいこんだ田所・今田



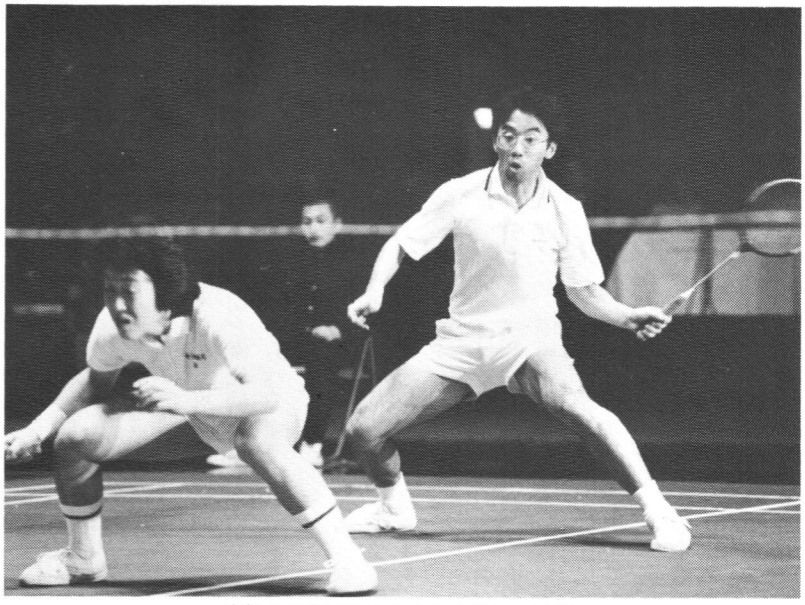
不運に泣いた今井・池田

日下・牛田、

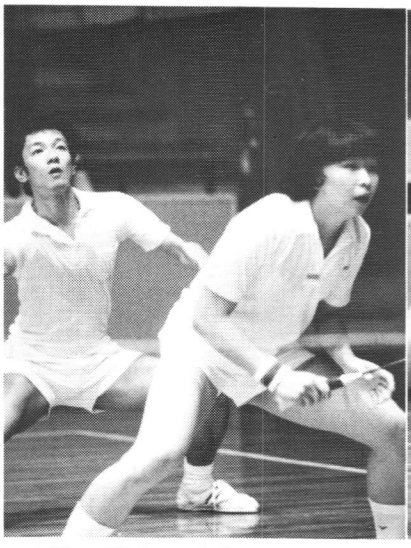
好試合が相次ぐ

今大会のミックスは、予断を許さない好試合が続出。田所・今田組からマッチポイントを握った関・石田組。中井・千葉組にあと一歩と迫った谷口・布上組。日下・牛田組と互角に打ち合った市村・田所組など、粒揃いの好ペアが多く、見応えあるゲームを展開していた。

決勝も甲乙つけがたい白熱した試合が予想されたが、池田がシングルス準決勝で膝を痛めたため凡戦となったのは残念だった。池田は満足に一歩も踏み出せない状態であった。



冷静さが栄冠をもたらした日下・牛田



市村・田所もベスト8



惜しくもベスト8どまりの関・石田

われらのクラブ ⑧

はじめはゲーム中心、今ではトレーニングが主体です!?

敦賀バードクラブ

柿木　みつる

市のスポーツ教室でバドミントンの面白さを知り、教室だけでなく、続けてやりたい、という有志が集まってクラブが出来てから4年余がたちました。

創立当時からのクラブ員は、転勤で辞めていった人や、出産その他の理由で辞めた人もいて、今ではわずか4名、その後のスポーツ教室から参加した人の方が多くなってしまいました。現在のクラブ員は31名、高校時代の経験者である福田さんを除いて全部家庭婦人になってから始めた人ばかり。幸い立派な指導者に恵まれて、最初の頃に比べると、我ながらびっくりする程上達したのではないかなどと、自画自賛しています。

練習は最近まで週1回でしたが、それでは満足出来なくて現在は週2回。環境的にも市立体育館を優先的に使わせてもらって、都会の人達にくらべると、とても恵まれているのではないか、と思っています。

わずか31名のクラブ員でも、技術的にはいろいろ差があり、トレーニング、フットワーク、基礎の後の練習は、各々1部、2部に分かれています。

市民バド大会、嶺南選手権、年1回行われる武生、福井、敦賀三市婦人バド交歓試合などにも、優勝、あるいは上位入賞出来るようにもなり、いい成績をあげられなかったクラブ員達も、次を目ざして頑張っています。

最初のころは、どうしても基礎、トレーニングをおろそかにしたゲーム中心の、今から思えばずい分といい加減な練習だったように思いますが、毎年行われるスポーツ教室のたびに、普段の練習がいかに中途半端なものであるかを思い知らされ、又、そのころ参加した三市の交歓試合でも団体戦でわずか1ペアしか勝てなかったみじめな気持ちを忘れることなく、ことあるごとに皆で話し合い、監督にも指示を仰いで、地道なトレーニング、基礎からやり直しました。

今も少しきついかとも思われる柔軟体操やランニング、腹・背筋、ジャンプなど、歯をくいしばって頑張っています。回り道をするようでも結局は、トレーニングを主体とした体力づくりが、上達のための最短コースでもあるし、少々お腹のたるんで来た私達の美容のためにもなるのだからと各自信じて一生懸命です。

20代の人はごくわずか、後は30代、中には40才を越えた人もいますが、各々少しずつではあっても、実を結んで来ているようです。

学生時代にスポーツに縁のなかった私も、スポーツする楽しさ、汗をかくことのさわやかさ、ましてバドをすることの楽しさを知り、もっと早くからやっておけばよかったのにと悔やむ程のバドキチになってしまいました。

どんなに燃え上っても気持ちをわかってくれない恋人にも似て、シャトルは何とつれないことか！　恐らくシャトルの魅力にとりつかれた人なら、誰でも皆同じようなことを思うのではないでしょうか。

ともかく、バド愛好者が、もっともっと増えて、出来れば全国のバドキチママさんが、一堂に会することがあれば、と、願って止みません。貴誌を通じ、いろんなところのバド愛好者のクラブの方達との交流が出来たら、と思っています。

カワサキラケット
河崎ラケット工業株式会社

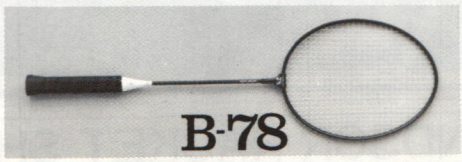
ドラマが始まる。



世界が燃える。

イギリス、デンマーク、インドネシア…
世界のコートで実力を発揮し、活躍するカワサキ。
数々の勝利のドラマを生み、
トッププレーヤに注目され続けています。

アルミ、クロームモリブデン、アルミ合金ダイカストを採用。
それぞれの特性を充分いかした軽く、弾力性豊かな新製品です。



No.B-78/セブンエイト/モスグリーン(アルミフレーム)
フレーム価格6,000円(ケース付)

ファッショナブル・スポーツ——バドミントン。

厳選された豊富さでお応えいたします。 BADMINTON

ファッション性とスポーツ性——この2つをより合わせ持つファッショナブル・スポーツーバドミントンの感覚を肌で感じにいらっしゃいませんか——！

色あざやかにそして機能性も豊かなウェアやバッグなど——バドミントンのすべてが常にフレッシュな状態でスタンバイ。

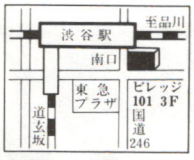
日本最大の専門店 ウインザー ラケットショップ。

毎月曜日定休・祝祭日を除く

渋谷店

東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ビレッジ101ビル3階) TEL03-464-9251~2 〒150

●営業時間／午前10時~午後7時30分





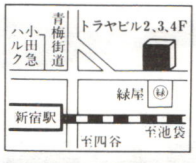


毎月曜日定休・祝祭日を除く

新宿店

東京都新宿区西新宿7-10-20(トラヤビル2,3,4階綾屋前) TEL03-363-6848 〒160

●●●営業時間／午前10時~午後7時





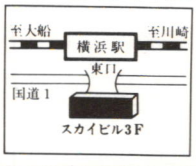


年中無休

横浜店

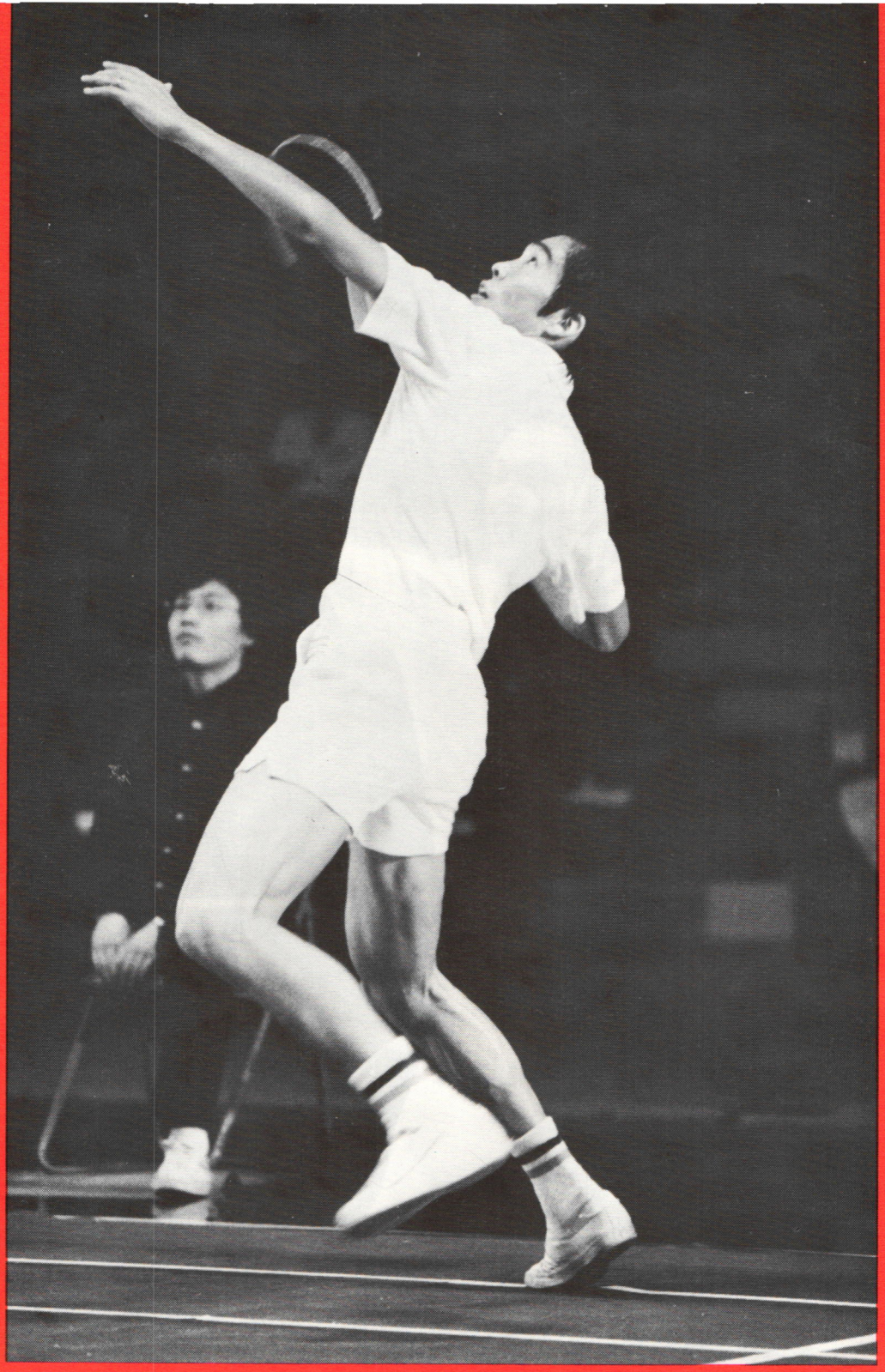
横浜市西区高島町2-1 横浜駅東口(スカイビル3階) TEL045-461-1785 〒220

●●●営業時間／午前10時~午後8時



WINDSOR RACKET SHOP

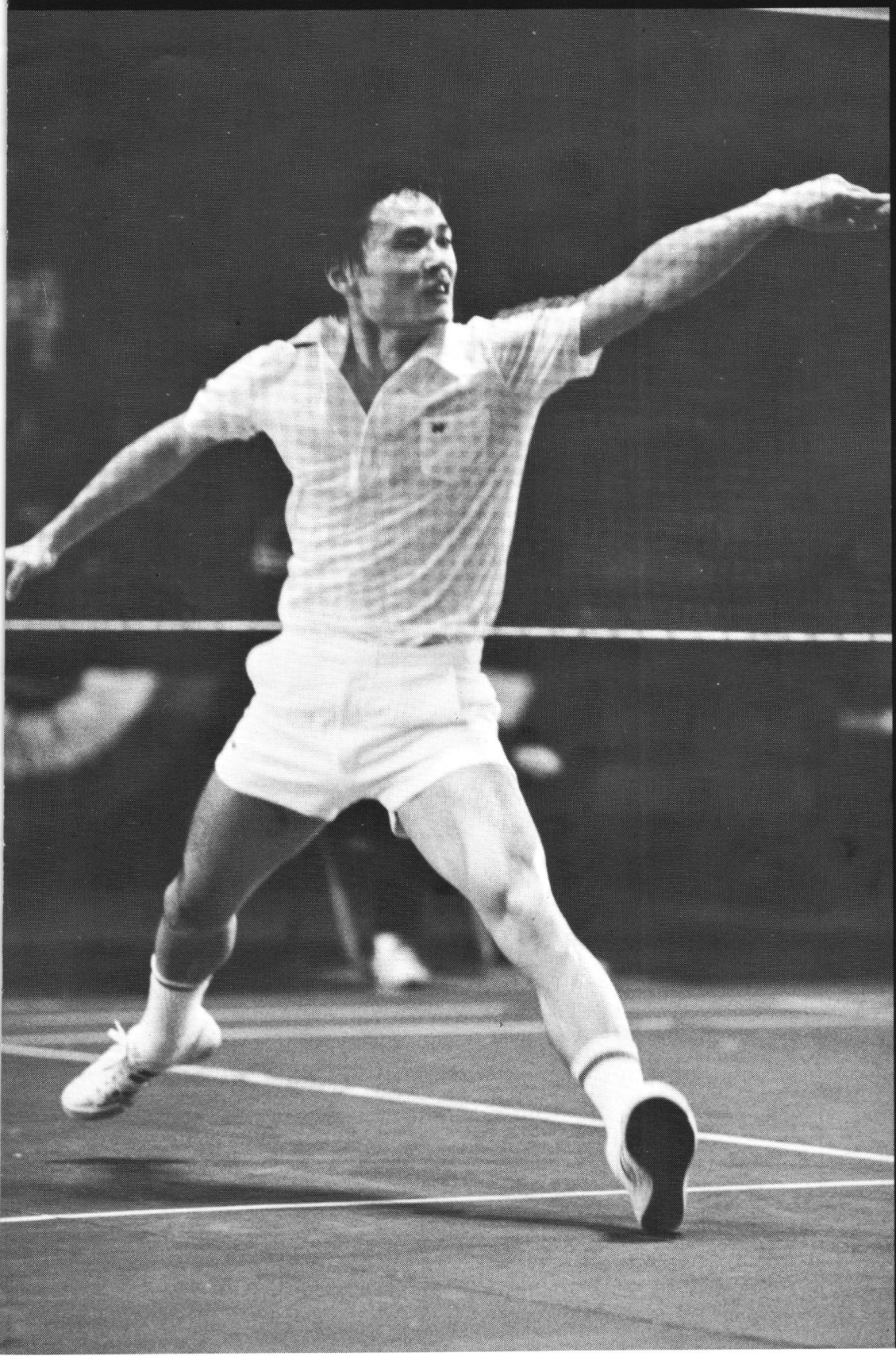
'77 ALL JAPAN PHOTOGRAPH



剛に柔が加わってますます安定感が出てきた銭谷

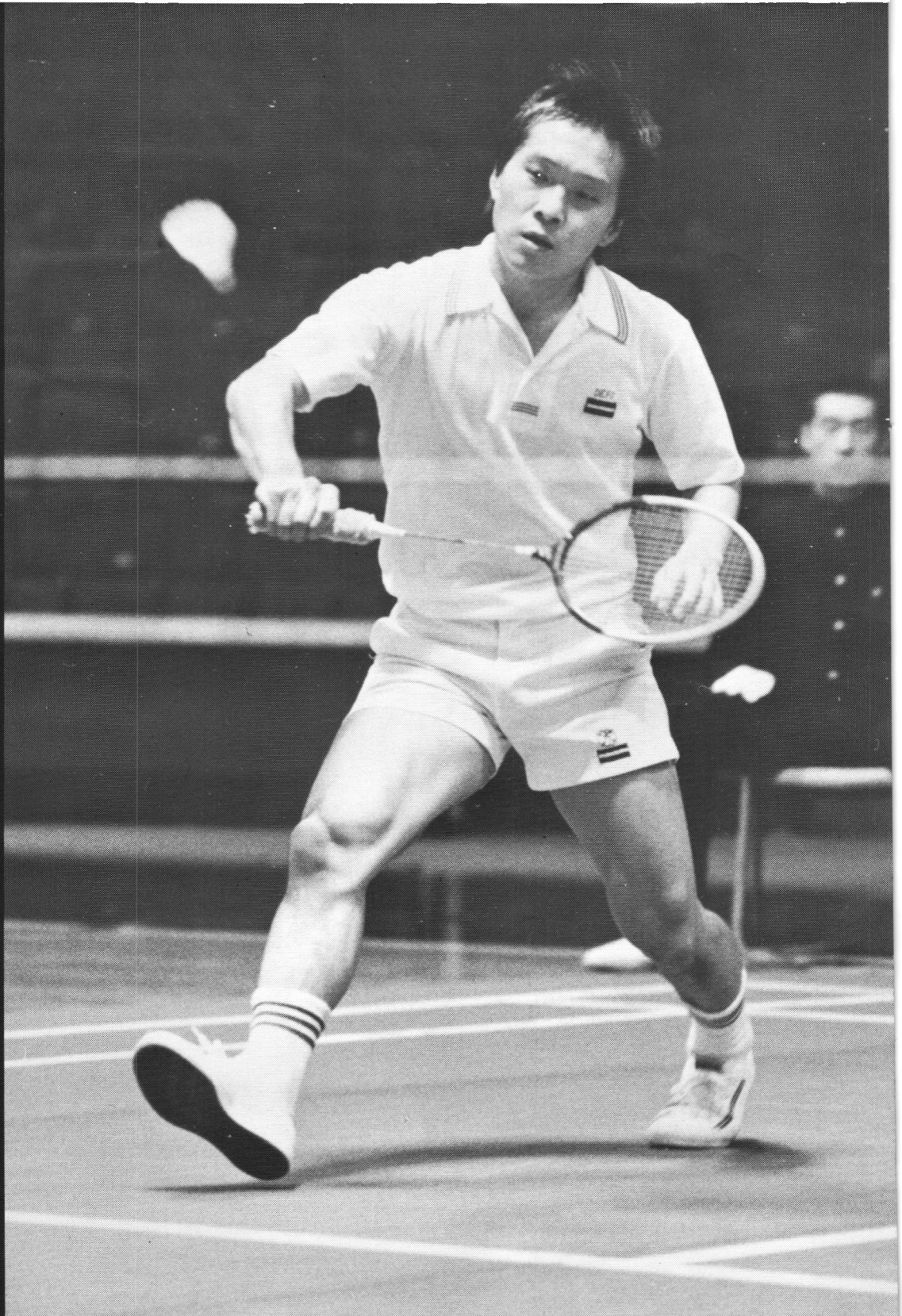
銭谷"円熟期"の連覇

持ち味の速いタッチを生かしきれず、またしても決勝で涙を飲んだ土田



土田、善戦むなし

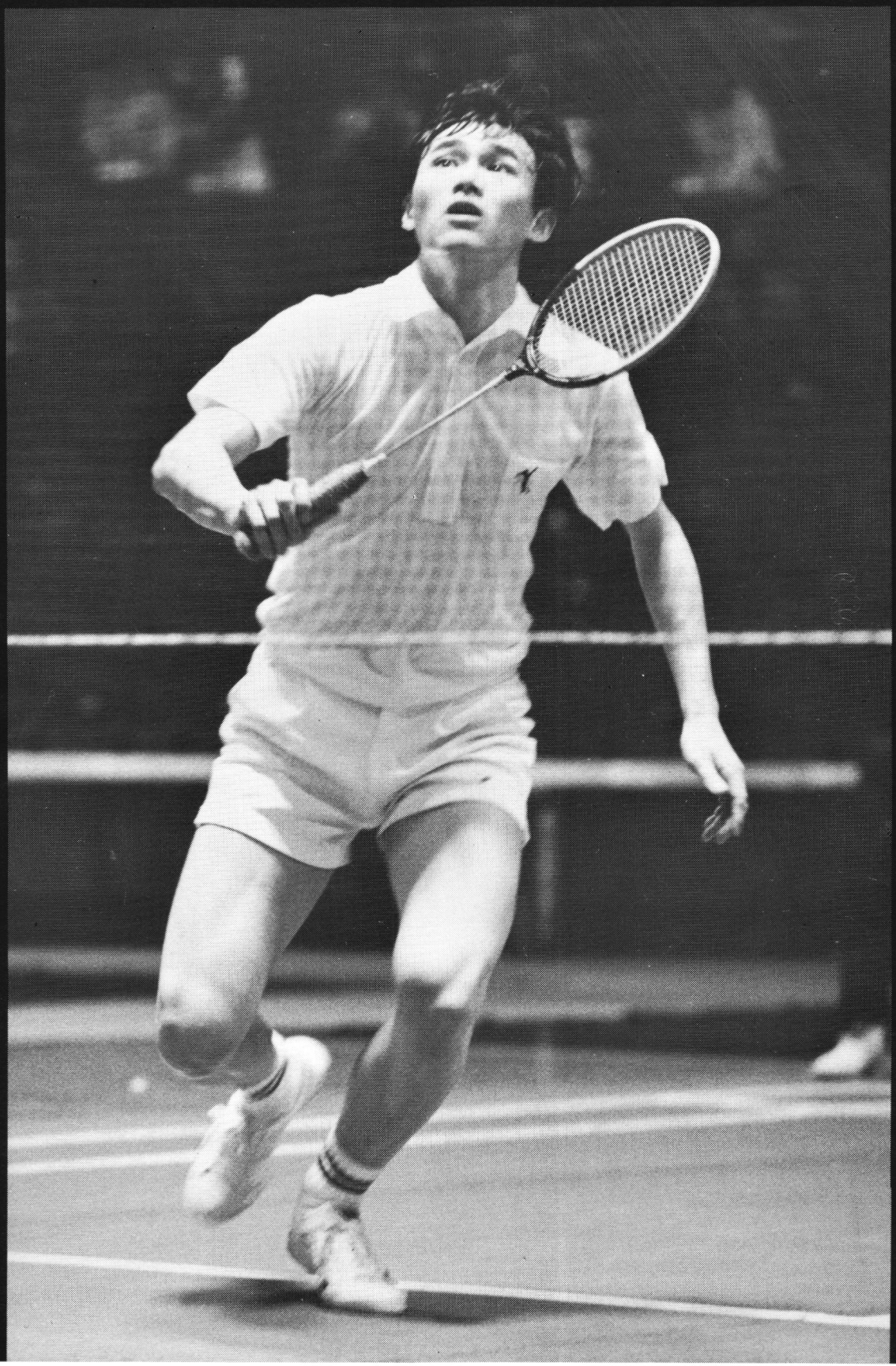
小島の〝ガッツ〟甦える



久し振りに気合いの入った動きで、スピリットファイトを見せてくれた小島

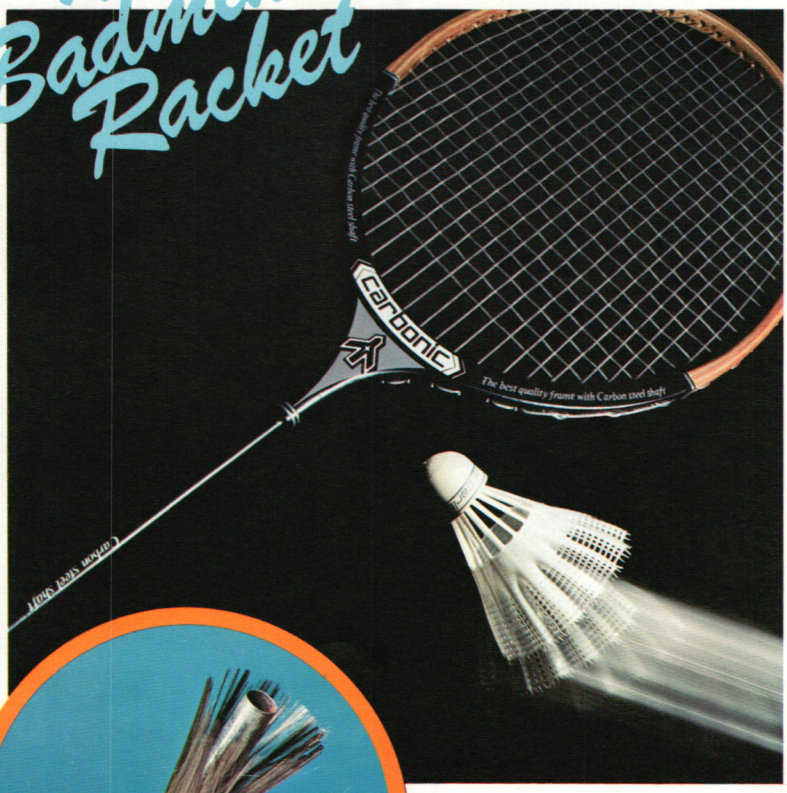
谷口、集中力に冴え

派手さはなくなったが、堅実なプレーに磨きのかかってきた谷口



carlton

New Badminton Racket



●PHOTO カーボニック・ブラック

●PHOTO ニュートーナメント



CARBON STEEL SHAFT

威力壮烈!

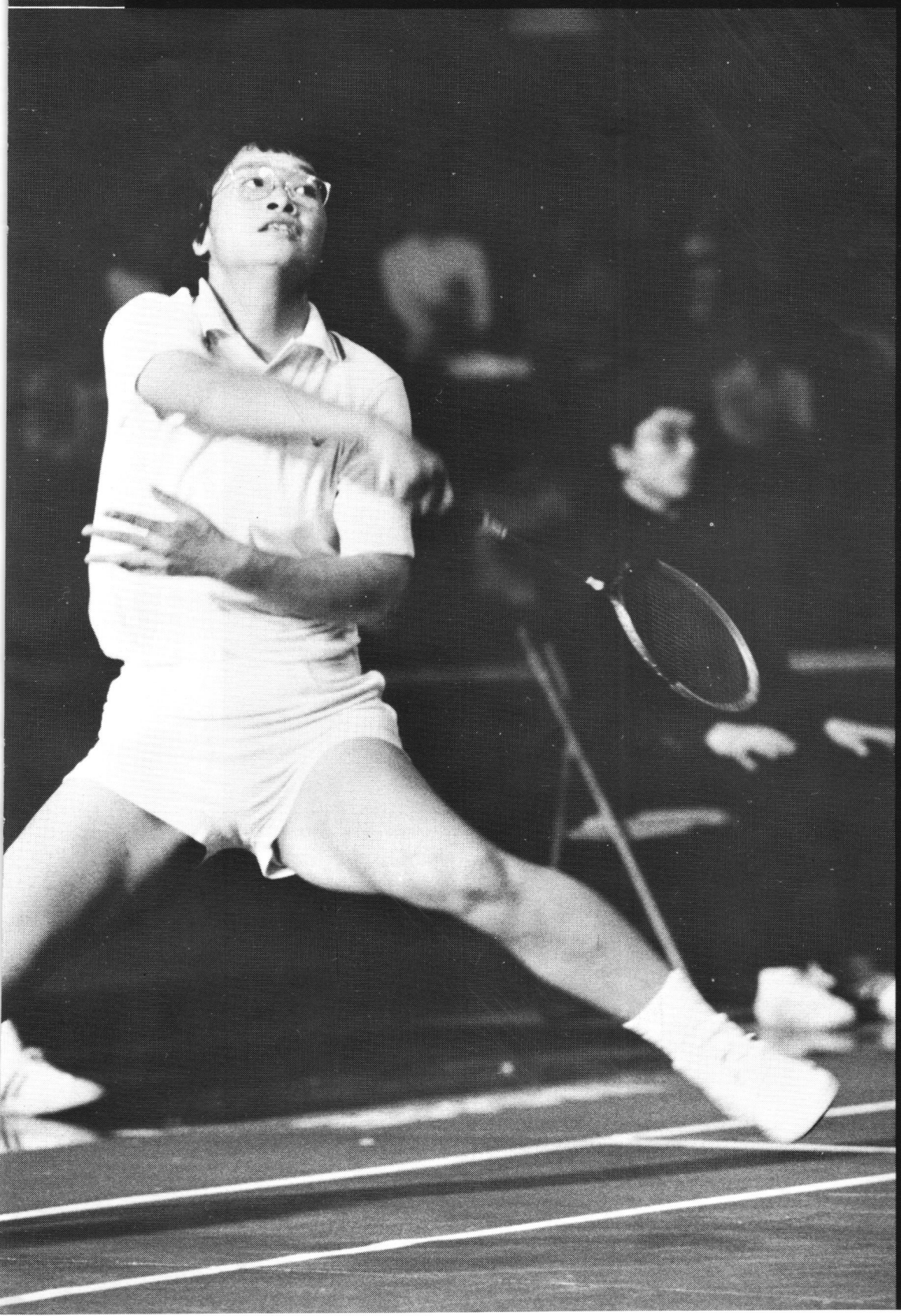
20世紀最後の素材といわれる理想の繊維カーボン。繊維に対して直角の方向に、驚ろくべき強さをもち●たわみに富む●するどい弾性とすばやい反発力を生む●しかも耐久性に強い……という最高の条件を備えています。

metro

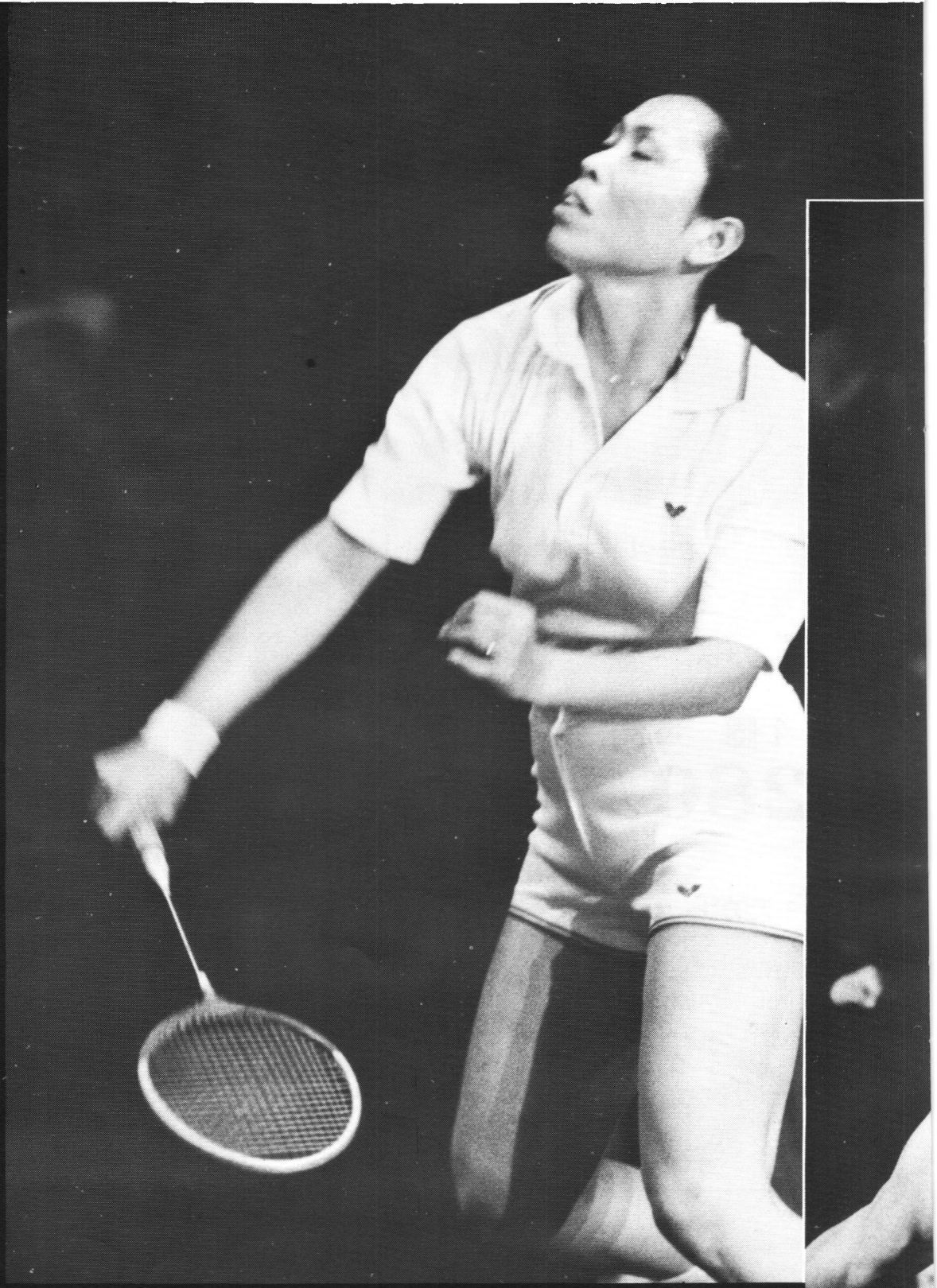
総発売元 メトロレジャー株式会社 〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

近藤〝男性的〟に新女王

豪快なジャンピング・スマッシュを武器に堂々と女子単を制した近藤



湯木、新記録はならず



6年連続の新記録に挑んだが、後輩近藤に花を持たせた格好の湯木

from carlton England

1,000,000ダース

カールトン・ナイロンシャトルの年間生産量です。

ニュートーナメント

1個

¥280



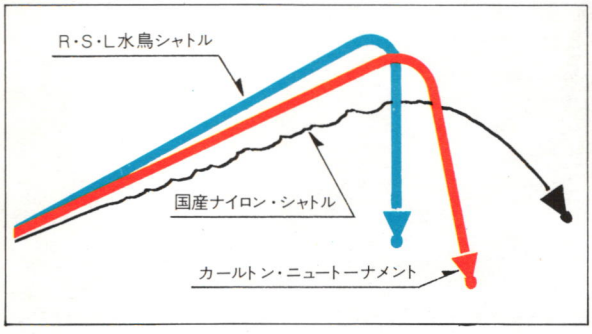


インターナショナル

1個

¥220

だから、こんなに安い価格で輸入品がお求めになれます。





ニュートーナメント：ターンオーバーがはやい。

左の図は、シャトルの飛行線を表わしたものです。カールトン・ニュートーナメントが水鳥シャトルの飛び方にいかに酷似しているか、おわかり頂けると思います。

しかも、国産品とは飛びが違います。

総発売元 メトロレジャー株式会社
〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

だからシャトルコックならカールトン

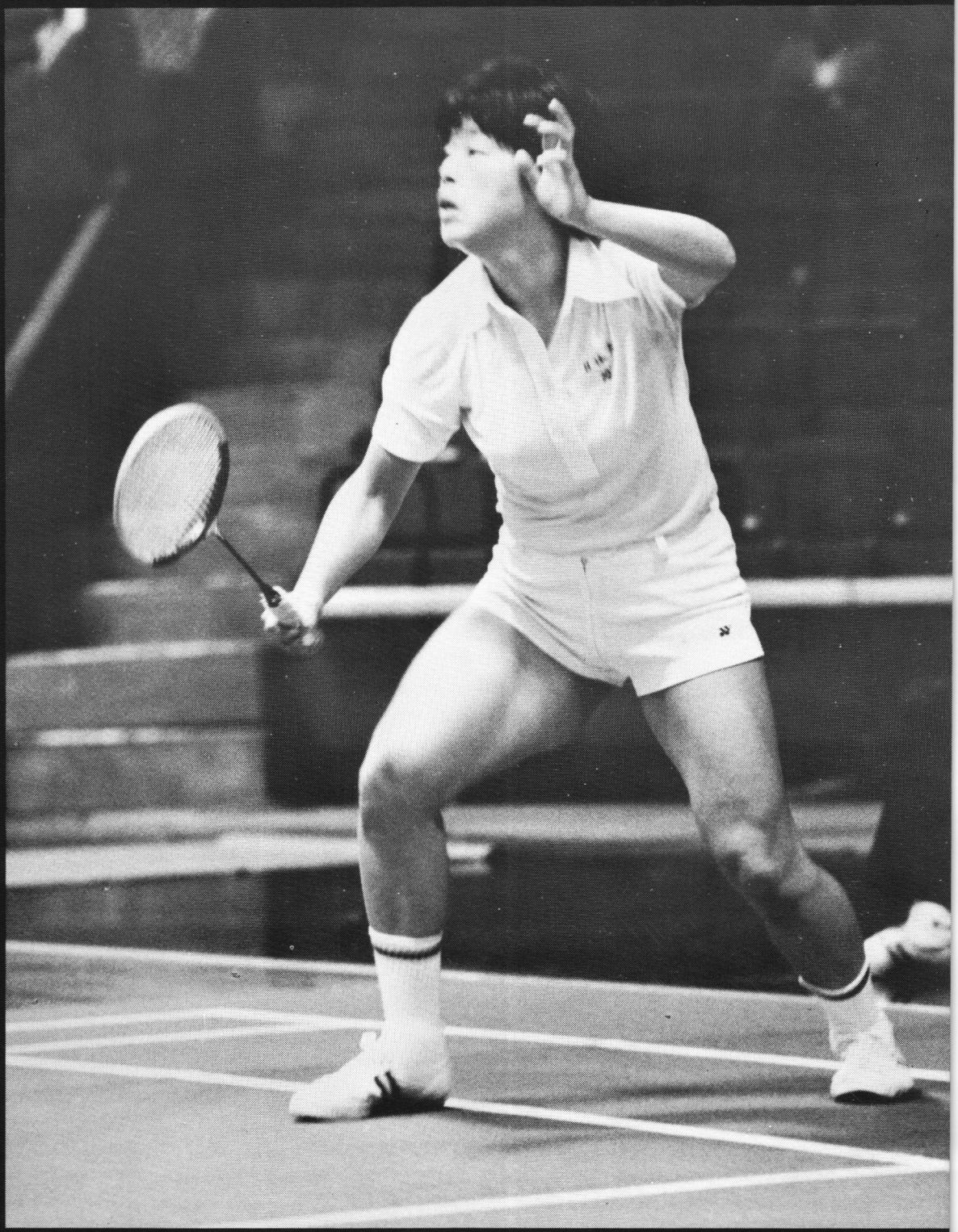


徳田、西尾を連破して、まだまだ健在ぶりを示した池田

池田、底力見せる

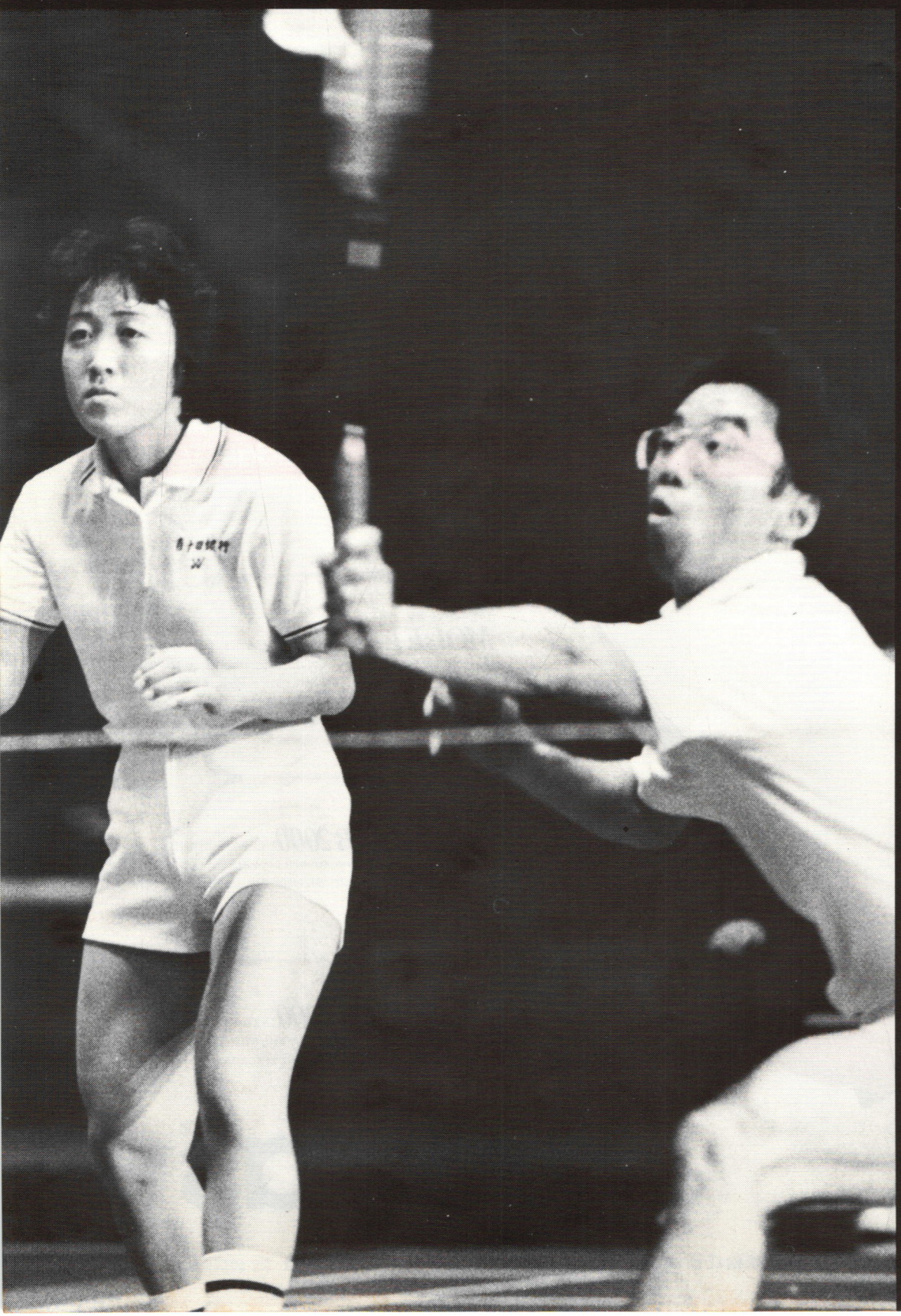
関根、学生界の意地

粘り強いプレーで社会人を破り、上位に入賞した大健闘の関根



日下・牛田〝イキ〟ピッタリ

見事なコンビネーションで、混戦のミックスを制した日下・牛田





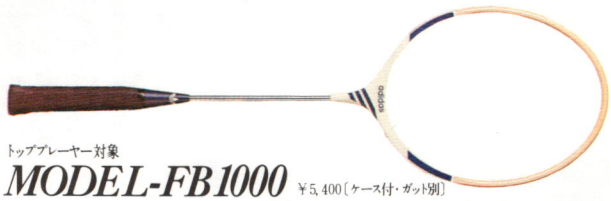
好評発売中

BADMINTON RACKET

スポーツシューズを始め、スポーティンググッズの幅広い分野で今や世界を独走するadidas®。そのスポーツを知りぬいたadidas®の本格バドミントンラケットが今、多くのファンを集めています。素材の持ち味をくまなく生かした各パーツ。バドミントンを徹底科学した機能的なフォーム。もちろん一流プレーヤーの『ここをこうしたい』という熱望をすみずみに取り入れたadidas®。パワーとテクニックを見事に両立させた最新鋭の1本1本、いち早く馴染むのがライバルを泣かせる秘訣。

バランスの良さ。なじむグリップ。この軽さ。デビューが待たれたadidas®の1本1本。

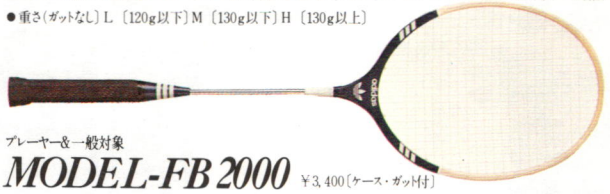




トッププレーヤー対象

MODEL-FB1000 ¥5,400〔ケース付・ガット別〕

⊙テーパードシャフト先細・手元太でロングなシャフト。思いきり振りきれ、素晴しい球離れが特長です。⊙フレーム 柔軟性と剛性をあわせもった合板フレーム。ガットが張りやすく、同時にガット張りによる変形がないのが決め手です。素材は特に厳選された高級木質材。⊙グリップ 手にしっくり馴染む高級牛皮グリップ。● グリップサイズG2〔太〕・G3〔中〕・G4〔細〕 ● 重さ〔ガットなし〕L〔120g以下〕M〔130g以下〕H〔130g以上〕



プレーヤー&一般対象

MODEL-FB2000 ¥3,400〔ケース・ガット付〕

⊙ストレートスティールシャフト ⊙フレーム やはり強度と柔かさを兼ねそなえた合板フレーム。吟味された高級材質の堅さがラケットの変形を防ぎます ⊙グリップ 牛皮を使用し触感、密着感に優れています。 ● グリップサイズG3のみ ● 重さMのみ



一般&ビギナー対象

MODEL-FB3000 ¥2,500〔ガット付〕

⊙ストレートスティールシャフト ⊙フレーム 丹念にセレクトされた木質素材の合板フレームで強度を確保しました。⊙グリップ グリップには手に馴染みの良い牛皮を使用 ● グリップサイズG3のみ ● 重さMのみ

adidas®

MADE UNDER ADIDAS LICENSE

● お求めはadidas特約店で。

製造業者 KG 兼松江商株式会社 発売元 KSG 兼松スポーツ用品株式会社

〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3 ☎06-305-1431
〒101 東京都千代田区内神田1-11-13(橋本ビル) ☎03-295-5611



ゆとりを取りもどしたい、ゆたかさを見直したい。

楽しいことがあったとき、うれしいハプニングが起きたとき、いつものテーブルに1本のワインをご用意下さい。
サントリーワイン＜デリカ＞スペシャル。文字通り、ちょっと特別の、よそゆきの気分のテーブルにぴったりのワインです。口あたりのまろやかな赤、きりりと爽やかな白——だんらんの食卓をより豊かに盛りあげていただきたい、そんな願いをこめてつくりあげました。ぶどうの芳香と風味がひろがる秀作です。

Suntory
サントリーワイン
デリカ

サントリーワイン〈デリカ〉赤・白・ロゼ720mℓ各600円、中瓶360mℓ各330円

サントリーワイン
〈デリカ・タイム〉
赤・白・ロゼ
1000mℓ……各800円
500mℓ……各450円
200mℓ……各200円
●価格はいずれも標準的な小売価格です。

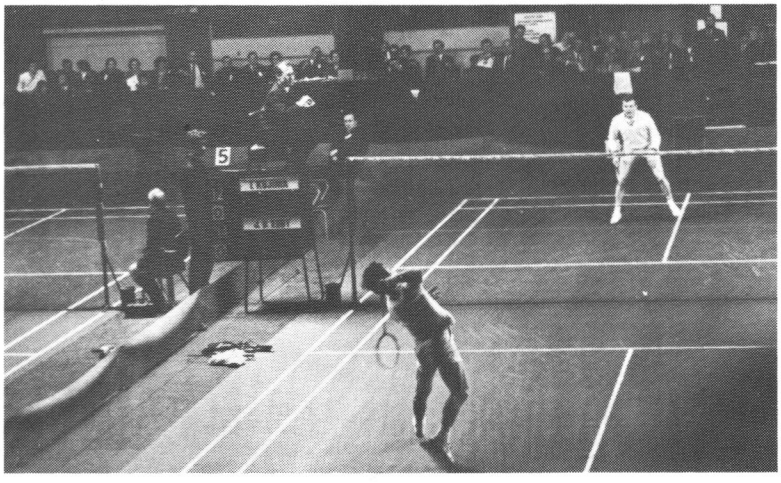


製造・販売
サントリー株式会社

㊊ガッツ小島の体当り実戦教室 ⑨

夢にまでみた全英選手権に出場

●小島一平



ぜひバドミントン・ファンに一度は見てもらいたい整然とした会場

●シングルスはハルトノに完敗

デンマーク・オープン、ダブルスの優勝は、日本の選手ではもちろん初めて。試合終了後のパーティでは多くのプレーヤーに祝福され素晴しい一晩だった。

さて、いよいよ夢にまで見た全英選手権が目前に迫り、緊張感が一段と高まり、そしてまた、ムラムラと闘志が湧いてくるのだ。デンマークでのシングルス一回戦敗退を胸に、今度こそはとにかく、あまり攻撃に固執することなく、あらん限りのスタミナを使うことを第一目標に、臨む決意も新たに……。

ウェンブレー・コートは、横一列に7コートが設置してあり、それは見事なものだった。その頃は、まだ日本にコート・マットがなかったため、驚きもした。そして、メインコートは第4コート。ちょうど中心に当たるわけで、このコートには、必ず好カードをもってくるといった心憎い演出。

組み合わせはまず前年のランキングと、世界の各種大会で好成績を挙げた選手をリストアップしシードとし、他は全部抽選。だから強豪がひしめく中、1回戦から好試合が生まれるわけである。

私が参加する前にも、今でも信じられないような大番狂わせが起っている。

それは、全英選手権に7回優勝しているE・コプス（デンマーク）対タン・イー・カン（マレーシア）の試合。タンは全英ダブルス

ではウン・ブン・ビーと組んで制しているが、シングルスでは実績が全然ない選手だった。だからどのようなプレーで勝ったのか自ら想像がつく。おそらく破壊力のあるスマッシュを叩き込み、絶妙のヘアピンで決めるか、浅く上げさせ仕止めるといったパターンであったろうと思われる。もちろん、厳しいストロークばかりであったことはいうまでもなく、ラリーは短く、一発勝負的要素が濃かったのだろう。この時のコプスの心中は、まさか負けるなどとは、試合前も始まってからも百パーセント、思っていなかったに違いない。それが、1ゲームを取られ、2ゲーム目を迎えるにしたがって、焦りが生じ、こんなはずはない、こんなはずはないと思いながら、シングルス特有のラリーが続かないため、ますます大きな穴へ落ち込んでいったと思われる。

私が思うに、最大の敗因は彼の性格にあったのでは……。彼は神経が繊細で、ラリーの続かぬ歯がゆさからカーッと頭に血が昇り、なぜこんなに苦戦するのかとムキになったためであろう。私も人ごとながら、長い選手生活を経験しているため、同じような失敗をしたこともあり、その心中はよく理解できるような気がする。

余談はさておき、私は初参加にもかかわらずシードとなり、さきの試合では1回戦で敗退しており、少々荷が重い感じだった。考えてみると、前年2位の秋山氏を全日本で破ったという実績以外なにものもなかったのだ。その意味でも、秋山氏にはここでも大いに感謝した次第である。

いよいよ試合開始となり、無我夢中でプレーしていたら、いつの間にかベスト8に入っていた。1回戦を勝って、2・3・4回戦は比較的気楽に闘えたように覚えている。

そしてベスト4入りで、その後行く手を何度も阻まれることになる、宿敵ルディ・ハルトノ（インドネシア）と対戦したのだ。

なにせ、秋山氏よりも身長がない小さな選手が参加したのだから、観衆は興味津々。同時にハルトノも初参加ということもあって、メインの第4コートには多くの観衆が集まった。試合の方は、ルディの爆発的なショットの前になす術もなく完敗。ベスト8で終ってしまった。

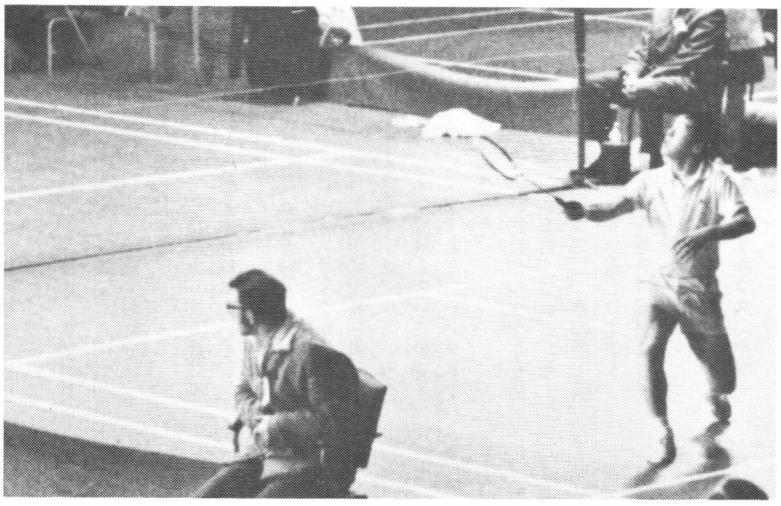
そして、ルディは驚いたことに初参加において前年優勝のタン・アイク・ハン（マレーシア）を破り、初優勝という偉業を成し遂げたのである。

ダブルスは全く無残なもので、1回戦で敗退。というのは、相棒の西野君がデンマーク終了後、風邪をこじらせ全然練習もできなかったのである。彼もベストの調子で試合ができなくて残念だったであろうし、私にも申し訳ないと気をつかって、可哀想なくらいだった。

やはり実力はあっても負けは負け。皆さんも、試合前は十分過ぎるほど何事にも注意することが必要だ。まして一度の失敗を二度と繰り返さないことを肝に銘じるべきである。

皮肉なことに、デンマークで我々が打ち破ったコプス・ボーチ組が優勝したのだから、よけい、悔まれてならないわけである。

（つづく）



全英選手権で活躍中の筆者

国際招待競技大会　1/16, 1/21, 1/22, 1/28, 1/29

デルフス、コーペンら12選手来日

――実力世界一級の強豪ぞろい――

大会日程と出場予定選手

新潟（1月16日）
F・デルフス、S・スコブガード、T・キールストロム、B・フローマン、N・ペリー、K・パティック
小島一平、飯野佳孝、土田証雄、関根和子、大塚ソノエ、植野恵美子

京都（1月16日）
R・スティーブンス、E・サットン、L・コーペン、I・ボルグストロム、J・V・ビューセコム、M・リダー
池田信孝、栂野尾昌一、銭谷欽治、湯木博恵、徳田敦子、高田幹子、近藤小織

岐阜（1月21日）
小島一平、銭谷欽治、中井基夫、湯木博恵、徳田敦子、高田幹子、近藤小織（ヨーロッパは京都と同じ）

熊本（1月21日）
池田信孝、栂野尾昌一、飯野佳孝、土田証雄、植野恵美子、米倉よし子
（ヨーロッパは新潟と同じ）

福岡（1月22日）
いずれも熊本と同じ

東京（1月28日正午、29日午前10時・代々木第2体育館）
トーナメント方式により全選手出場

楽しみな顔ぶれ

新年のトップをかざる国際招待競技大会が上記のとおり開催される。

今年は、例年になく大勢のヨーロッパ選手が来日し、そのヨーロッパチームを二つに分け、各地を転戦する。

そして最終戦は、国立競技場代々木第2体育館において、二日間にわたり、トーナメント形式で単複試合が行われる。

とくに、デンマーク女子のコーペンは、昨年のマルメ世界選手権大会女子シングルス、混合ダブルスに優勝している世界チャンピオンであり、そのプレーが期待される。

また、昨年につづき今年も男子チャンピオン、フレミング・デルフスも参加し、その選手団は、実力世界一級といえよう。

来日する各選手の横顔はつぎのとおり。

▼男子

フレミング・デルフス（デンマーク）
77年全英単1位、複3位、世界単1位、カナダ単1位

ステーン・スコブガード（デンマーク）
77年全英複3位、世界混合複1位、初来日

トーマス・キールストロム（スウェーデン）
76年全英複1位、77年複3位、世界単3位、複3位、カナダ単2位、複1位

ベント・フローマン（スウェーデン）
76年全英複1位、77年全英複3位、世界複3位、カナダ複1位

レイ・スティーブンス（イギリス）
76年全英複2位、77年世界複3位、カナダ複2位

エディ・サットン（イギリス）
76年全英複3位、77年世界複5位、カナダ複2位、初来日

2チームに別れ、各地を転戦

――東京ではトーナメントで競う――

▼女子

リーン・コーペン（デンマーク）
77年全英単2位、世界単1位、混合複1位、

インゲ・ボルグストロム（デンマーク）
77年全英複5位、世界複3位

ヨーケ・バン・ビューセコム（オランダ）
77年全英複2位、世界複2位、ニュ単1位、複1位

マーヤン・リダー（オランダ）
77年全英複2位、世界複2位、旧姓リュースケン

ノラ・ペリー（イギリス）
77年全英複3位、世界複3位、カナダ複1位、旧姓ガードナー

カレン・パティック（イギリス）
77年カナダ複1位、日本ではまだあまり知られていないが、イギリス期待の若手選手で、ヨーロッパジュニア選手権の女子複、混合複で優勝している（77年5月）。初来日

（全英＝第67回全英選手権大会、世界＝第1回世界選手権大会、カナダ＝カナダ・オープン選手権大会、ニュ＝ニュージーランド・オープン選手権大会の略）

来日するヨーロッパ勢12選手



Steen Skovgaard



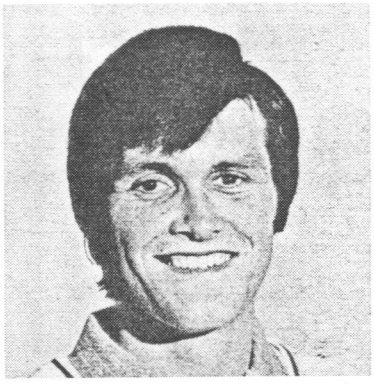
Bengt Fröman



Thomas Kihlström



Flemming Delfs



Eddie Sutton



Ray Stevens



Lene Køppen



Inge Borgström



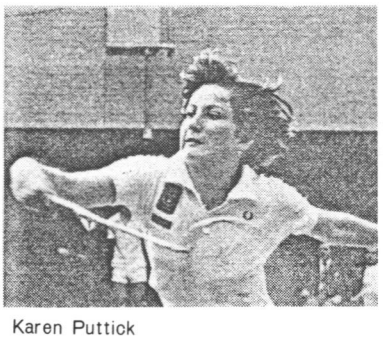
Nora Perry



Joke van Beusekom



Marjan Ridder-Luesken



Karen Puttick

SUNBATTA

いま うわさの……



S-76 スーパーラッシュ

極細の特殊加工スチールテーパーシャフト使用。
反発力が一段と増し、抜群の攻撃力が生まれプレーヤーの持っている力を十二分に発揮出来るすばらしいパートナーが出現しました。

play with...

SunBatta

ヨーロッパ情報

山本洋彦

ギリアン・ギルクス、冷や汗!!

11月18、19日の二日間バークンヘッドでノーザン・チャンピオンシップスが開かれ、男子シングルスで、デリク・タルボットがデビッド・エディを破り、また女子シングルスでは、ギリアン・ギルクス夫人がポーラ・キルビントンを破ってそれぞれ優勝した。

タルボットは、ストレートでエディを降し、イングランド・ナンバーワンの地位を確保したが、ギルクスはキルビントンとファイナル・ゲームを演じ、一時は10オールとなり、あわやと思わせる大接戦の末の勝利であった。

11月21日付のガーディアン紙によると、ポーラ・キルビントンは、ギリアン・ギルクスに代わって英国ユーバーカップチームでプレーするかも知れないと伝えている。

各種目決勝のスコアは次のとおり。

▽男子シングルス
デリク・タルボット　15—12、15—5　デビッド・エディ

▽男子ダブルス
エディ・サットン、デリク・タルボット組　15—8、15—6　R・ロフェ、マイク・トレジェット組

▽女子シングルス
ギリアン・ギルクス　11—4、3—11、12—10　ポーラ・キルビントン

▽女子ダブルス
バーバラ・サットン、ノラ・ペリー組　17—15、15—1　ジェーン・ウェブスター、アン・スタット組

Air Mail From London

by H. Yamamoto

バドミントンがオリンピックに!!

日本でもIOCキラニン会長の発言についてはかなり報道されていると思いますが、IBFとWBFの問題がからみ、状況はかなり流動的であります。

とりあえず、当地で得られる範囲で大略お伝えします。

11月24日付ガーディアン紙によると、IOC（国際オリンピック委員会）のキラニン会長は、世界歴訪の途中、クアラルンプールに立ち寄り、「バドミントンはオリンピック競技に加えられる次の競技となるだろう」と述べ、バドミントンが今や、世界的に普及し、十分オリンピック競技として採用される基盤があると評価しており、一九八四年のオリンピックへの採用をほのめかす発言をしている。

しかし、翌日の同紙では一変して、アジアを中心とするWBFの動きにふれ、この種の分裂がある以上、オリンピック競技への採用は遅れるだろうと述べている。

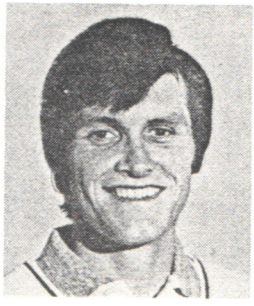
しかし、いずれにせよ、バドミントン自体がIOCの目にとまっていることは事実で、われわれとしては、一日も早くその正式採用の報に接したいものである。

バドミントンを愛好しているヤングの皆さん、オリンピックに参加できるのはあなた方です。オリンピック目ざして、猛練習をしてください。

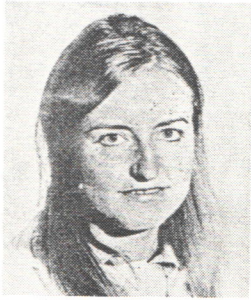
（編集部から…アジア各国が中心になって、バドミントンの新しい国際組織WBFを結成しようという動きが、新聞でもすでに報道されています。本誌でも、当然日本協会としての正式態度をお伝えする用意をしておりますが、国際委員会からの原稿が大幅に遅れており、未発表となっています。ご了承をお願いいたします）



デリク・タルボット



エディ・サットン



ギリアン・ギルクス



ポーラ・キルビントン

海外トピックス

外国誌からニュースをひろう　●友枝康子

◇第21回カナダ・オープン・バドミントン選手権大会

F・デルフス〝世界一〟の実力をみせる

女子は地元W・クラークソンが栄冠獲得

カナダ・オープン・バドミントン選手権大会は、10月27日から30日まで、トロントで開かれた。

カナダ国内から34名、国外から34名、あわせて68名の参加者があった。

海外から最も多くの選手を送りこんだのは、イングランドで10名、このうちの3名は、国際舞台初参加という若い選手だった。イングランドは、親しみやすく、気取りのないチームであるし、またすぐれた選手たちで構成されていた。準決勝に17名が残るという好成績だ。

この大会のハイライトは、またデンマークからの2人の選手でもあった。マルメ世界選手権大会のゴールド・メダリストである、フレミング・デルフスとステーン・スコブガードだ。デルフスは期待を裏切らない試合ぶりを見せた。小国デンマークに10万人のバドミントン人口があり、国内の3大スポーツの一つに数えられているという。

日本はほかのいくつかの国と同様、ユーバー杯に備えて女子選手の派遣をひかえたが、2名の男子トップ・プレーヤーが、見事、その責を果たした。

メキシコからは、パン・アメリカン・バドミントン連合会長で、熱心なバドミントン後援者であるヴィクトール・ハラミロ氏に率られて、8名の若い選手が参加し、大会の人気者だった。

スウェーデンからは、トーマス・キールストロムとベント・フローマンのペアを含めて、6名の強力選手が参加。

アメリカは、6名がフル・エントリーで参加、熱心で切れのよい試合ぶりで大会に花をそえた。

地元カナダは、ナショナル・チーム全員と10名の選手が参加、強力な国際選手の層を破るのは困難だったが、観衆は大いに満足だった。イアン・ジョンソンとパット・トライオンが男子ダブルスで、ウェンディ・クラークソンとジェーン・ヤングバーグが女子シングルスで善戦した。

各種目の決勝は次のとおり。

◆女子シングルス

ウェンディ・クラークソン（カ）12—10、11—1　ジェーン・ヤングバーグ（カ）

◆男子シングルス

フレミング・デルフス（デ）12—15、15—7、15—10　トーマス・キールストロム（ス）

◆女子ダブルス

ノラ・ペリー、カレン・パティック組（イ）11—8、11—9　バーバラ・サットン（旧姓ジャイルズ）、ジェーン・ウェブスター組（イ）15—4、15—12

◆男子ダブルス

トーマス・キールストロム、ベント・フローマン組（ス）16—17、15—11、15—10　デリク・タルボット、エディ・サットン組（イ）

◆混合ダブルス

デビッド・エディ、ノラ・ペリー組（イ）15—4、15—12　ステーン・スコブガード（デ）、ジェーン・ウェブスター（イ）組

日本を訪れて

ジョン・チック

昨秋、日本で行われたカナダ対日本国際バドミントン親善の試合は、日本の圧倒的勝利に終ったが、チームの一人で、カナダ男子シングルスのNo.2であるジョン・チックが、「ノーザン・シャトル」紙にその印象記を寄せているので、その内容のあらましをご紹介する。

◇　◇　◇

コーチを含めて七名の一行は、むし暑い午後東京着、日本バドミントン協会の役員、選手の笑顔に迎えられた。冷房のきいた車で、大きな看板、工場、野球場、ゴルフ練習場の間を縫ってホテルに向う。道路は清潔だが、大都市の例にもれず、その空気はきれいだとはとてもいえない。

十一日の間、札幌、東京及びその周辺都市を回り、国際級の選手を含めてさまざまな選手たちと試合を行なった。どの土地も滞在は2日間を越えなかった。

国際級の選手との試合はすばらしかった。彼らの守りは固く、

（ノーザン・シャトル、11月号より）

突きくずすのは容易ではない。疲れを知らぬかのように、積極的にわれわれを攻め抜いた。どうにか2、3ゲームに勝利を得ることができたが、初めのころは、さんざんに痛めつけられた。

二、三時間の試合の後、たいていレセプションが開かれたが、立食の時など、日本選手との熱戦の後では、いささかこたえた。日本人はホスト役として、今までにない人たちだった。コート上では熱心にわれわれを打ちのめし、コートを離れると、大変に謙虚で、いつでもわれわれのサービスに努めてくれる。まるで王侯貴族の扱いだ。われわれはプレーのことだけ考えていればすんだ。

すぐれたホストであることは、時には、ずいぶん辛抱のいることだ。パーティなどに気をつかいすぎなければ、日本はほとんどの試合に勝てたかも知れなかった。

われわれの旅は、試合ばかりではなく、さまざまな日本に接することができた。帰国の二日前には、有名な滝や広大な神社のある日光へのバス旅行に出かけた。家庭で、茶会で、街中で、ナイトクラブで、あるいは風呂で、多勢の日本人と会う機会があって、日本文化の断面をかいまみることもできた。もう少しのところで、台風の体験までできるところだったが、台風は針路を変え、東京をはずれて過ぎた。そのおかげで、無事出立できて、青空と太陽のヴァンクーヴァに迎えられることができた。夢の間に過ぎた二週間の日本だったが、そろそろ故郷も恋しくなったところだった。（ジョン・チック）



挙式の二人（photo by Badminton Gazette）

南ア・SABUとSABAが統一
人種差別消える

南アフリカにおける、非白人プレーヤーに対する差別の撤廃が公式に表明されたという朗報が聞かれた。

南アフリカ・バドミントン連盟（SABU）が一九三九年に設立され、一年後に国際バドミントン連盟（IBF）に加入して、バドミントンの統合機関となったが、その一方、数年後に南アフリカ・バドミントン協会（SABA）が、非白人プレーヤーの統合機関として作られた。両機関が合併してSABAの名の下に動く現在に至るまでには、両者の努力に何年もが費やされ、数多い会議が開かれてきた。

ケープタウンとその周辺ではすでに大きな進展が見られる。（白人系）西部州バドミントン協会の二月の年次総会では、従来の（非白人系）西部州バドミントン連合の会員だった16のクラブが、正式会員として満場一致で承認された。この結果これらのクラブからすでに26チームが西部州バドミントン協会主催の競技会に参加している。この16のクラブは、完全な投票権を獲得し、南アフリカ・スポーツ省も、この合併を承認した。

（バドミントン・ギャゼット 11月号より）

E・サットンとB・ジャイルズが結婚
新しいパートナー誕生

10月22日、混合ダブルスの永久的なペアが誕生。イギリスの国際的プレーヤー、エディ・サットンとバーバラ・ジャイルズは、エセックス州、S・オッケンデンの聖十字架カトリック教会で結婚式を挙げた。

二人を祝福する一七〇人のバドミントン関係者に囲まれて、3ヤードもの裾をひく白いシフォンのドレス姿のバーバラはいうまでもなく美しかった。二日間のハネムーンの後、両人は遠征イングランド・チームに加わって、カナダへ発った。

（バドミントン・ギャゼット 11月号より）



本誌別冊カレンダー

デザイン一新　好評発売中

定価1000円（荷造送料200円）



毎年ご好評をいただいております本誌別冊カレンダーが今年も発行されました。一昨年はモノクロ、昨年はカラーで制作いたしましたが、今年はモノクロ写真を使用し、日付の部分にブルーとグリーンを配したしゃれたものです。しかもグラフィックデザインでは第一人者の野間義剛さんのレイアウトにより、迫力の点でもすばらしい出来ばえとなりました。製本はアクリルリングによるタンバリン綴じを採用し、破ることなくご使用になれます。

サイズは本誌の４倍で、上質のケント紙を使用し、お部屋のアクセントになるでしょう。収録選手は次のとおりです。

１月＝栂野尾悦子・植野恵美子、２月＝小島一平、３月＝スヴェン・プリ、フレミング・デルフス、４月＝土田証雄、５月＝ベント・フローマン、トーマス・キールストロム、６月＝池田信孝・栂野尾昌一、７月＝チュン・チュン、ヨハン・ワジュディ、８月＝徳田敦子・高田幹子、９月＝飯野佳孝、10月＝銭谷欽治、11月＝長谷川博幸、12月＝湯木博恵

現在好評発売中で、定価は1000円（荷造送料200円）です。ご希望の方は、はさみ込みの振替用紙に必要事項と通信欄に「カレンダー○部申込み」と明記して、代金（送料を添えて）をお近くの郵便局からお振り込みください。

〒150　東京都渋谷区神南１－１－１　岸記念体育会館

バドミントン界編集部

1978年全英選手権、デンマークオープン、視察団募集中!!

旅行期間：昭和53年３月８日(水)～３月21日(火)<14日間>

総費用：￥398,000（トラベルローンご利用可）

このたび日本バドミントン協会では上記バドミントン視察団を企画、主催いたします。
世界の檜舞台で活躍する日本選手団を応援し、あわせて全世界の優秀選手のプレーを観戦する絶好のチャンスではないでしょうか。
皆様のご参加をお待ちしております。

<ご 日 程>

月日（曜）	地名	現地時間	交通機関	予定
昭和53年 ３月８日(水)	東京発	夜	航空機	（機中泊）
３月９日(木)	コペンハーゲン着	朝		着後：コペンハーゲン市内観光 夕方：デンマークオープン 準々決勝観戦 （コペンハーゲン泊）
３月10日(金) ～ ３月11日(土)	コペンハーゲン			デンマークオープン 準決勝＆決勝観戦 （コペンハーゲン泊）
３月12日(日)	コペンハーゲン発	夕	列車	（車中泊）
３月13日(月)	パリ発	朝		着後：パリ市内観光 （パリ泊）
３月14日(火)	パリ			一日自由行動 （パリ泊）
３月15日(水)	パリ発	夜	列車とフェリーボート	（車中泊）
３月16日(木)	ロンドン着	朝		着後：ロンドン市内観光 （ロンドン泊）
３月17日(金) ～ ３月19日(日)	ロンドン			全英選手権観戦＆ バドミントンクラブ訪問 （ロンドン泊）
３月20日(月)	ロンドン発	朝	航空機	（機中泊）
３月21日(火)	東京着	夜		着後解散

御旅行条件

○総費用にふくまれるもの
(1) 全行程エコノミークラス航空運賃
(2) 各地における空港／ホテル間の特別バス運賃
(3) ご日程に記載の各地市内見学バス、ガイド料金、入場料金
(4) 各地における一級ホテルの２人室（原則としてバス・トイレ付）にお２人の宿泊料金および税・サービス料金
(5) 毎日のホテルにおける朝食および市内見学時の昼食料金
(6) お１人１個づつのスーツケース運搬料金（20kg）
(7) 団体行動中のチップおよび空港税
(8) 全英選手権、デンマークオープンの入場料

○総費用にふくまれないもの：
(1) 海外渡航に要する費用：印刷代、予防接種、旅行保険、手数料
(2) 上記の食事条件にふくまれない食事および全行程のお飲み物代
(3) その他個人的性質の諸費用（チップ、電話、クリーニング代など）

○全行程に渡り添乗員がお伴して、ご斡旋致します。

※募集人員は35名と致します。尚、お申込み金・お取り消し料及び詳しい御日程等につきましては、別途御用意するパンフレットを御参照下さい。
募集締切日は昭和53年２月８日(水)といたします。
御注意：上記費用は昭和52年10月現在の航空運賃及び地上費用に基き算出してありますので変更する場合がございます。
：上記日程は日本選手団の試合日程により多少変更する場合がございます。

お問合わせ及びお申込みは
〒160 東京都新宿区西新宿1-18-8スカイビル内
㈱日本交通公社国内・海外団体旅行新宿支店
担当「1978年バドミントンヨーロッパ視察団」係
木本グループ：大野・小幡 Tel:03-346-2913

主 催：日本バドミントン協会

旅行取扱い代理店：㈱日本交通公社

国内.海外 団体旅行新宿支店
運輸大臣登録一般旅行業第64号



バドミントン界専用
合本バインダー

500円

穴あけ不要、
かんたんに、
美しく保存

本誌１年分12冊を、穴をあけたり、ノリを使ったりすることなく、簡単に保存しておくことのできる専用合本バインダーができました。

今年は表紙の新しいデザインにあわせて、バインダーのデザインも変更しました。

写真のように、濃いブルーのクロスに銀パクを押したものです。

１冊定価500円ですので、ご希望の方は下記の荷造送料を加えて、はさみこみの振替用紙に必要事項明記のうえ、お近くの郵便局からお申し込みください。

荷造送料＝１冊300円、３冊まで600円、４冊以上700円。

〒150東京都渋谷区神南１－１－１　岸記念体育会館

バドミントン界編集部

バックナンバー一覧表＝お申込みはハガキで　シメキリ＝3月31日

本誌バックナンバーの新しいリストができあがりました。本誌はそろえて保存すれば「**バドミントンの百科事典**」となります。

●**34号**＝130円 ▶ユ杯の三連勝なる▶栄光と熱戦のあと▶神様に昇格した中山主将▶栄冠涙あり

●**40号**＝130円 ▶72年度全日本総合選手権▶小島〝復活〟▶女子ホープは目白押し▶アマチュアリズムとは

●**51号**＝130円 ▶第3回国際競技大会▶女子の活躍で日本選抜辛勝▶小島一平の実戦教室

●**52号**＝220円 ▶全英選手権大会▶湯木2度目の女王の座へ▶相沢・竹中3連勝ならず▶小島一平の実戦教室▶中山紀子・私の歩んできた道

●**53号**＝220円 ▶全英選手権を終えて（湯木博恵・栂野尾昌一）▶スナップ写真集▶小島一平の実戦教室▶中山紀子・私の歩んできた道

●**54号**＝220円 ▶ピンナップ特集▶外国からの挑戦者たち

●**55号**＝220円 ▶第5回全日本女子チャンピオンズトーナメント▶小島一平の実戦教室▶中山紀子・私の歩んできた道

●**64号**＝220円 ▶第4回国際競技大会▶湯木ギルクスに快勝▶英国強し▶第6回全日本女子チャンピオンズトーナメント

●**65号**＝220円 ▶小笠原母島のバドミントン▶デンマークオープン▶全日本総合団体戦

●**68号**＝220円 ▶無念ノユ杯V4ならず▶湯木・中山の健闘むなし▶バドミントンに賭けた青春＝湯木博恵

●**69号**＝220円 ▶ユ杯詳報▶湯木、中山マイペース▶相沢・竹中不調▶日本必死の防戦も及ばず

●**70号**＝220円 ▶インターハイ▶植野女子三冠に輝く▶男子は林田が制す▶東日本学生選手権

●**71号**＝220円 ▶トマス杯東地区予選日本対香港▶日本完勝▶土田初出場で重責を立派に果たす

●**72号**＝220円 ▶全日本社会人選手権▶小島・湯木が優勝▶全国の指導者に望むこと

●**73号**＝220円 ▶第4回日中競技会▶ヤングパワー林詩銓▶はつらつ劉霞▶中国ランキング

●**74号**＝220円 ▶75年全日本総合選手権▶小島不滅の金字塔▶湯木キズだらけの四連勝▶徳田白熱の善戦

●**75号**＝220円 ▶第30回国民体育大会▶神奈川が2年ぶり10度目の栄冠▶全日本学生選手権

●**76号**＝220円 ▶トマス杯アジア東地区決勝日本対韓国▶日本9―0で完勝▶第5回国際競技大会

●**77号**＝220円 ▶全日本総合選手権団体戦▶第7回全日本女子チャンピオンズトーナメント▶ジャカルタの新聞とユーバー杯

●**78号**＝300円 ▶全英選手権大会▶ハルトノ8回目の栄冠▶ギルクスは三冠王▶第1回アジア招待大会▶スミラト中国勢を連破して優勝

●**81号**＝300円 ▶学生大会集

●**82号**＝300円 インターハイ▶金沢市工、四条畷が連勝▶男子宍戸、女子石川が栄冠▶全国中学生大会▶全日本教職員選手権▶京都家庭婦人大会▶長崎家庭婦人大会

●**83号**＝300円 ▶76年オールスター男子ダブルス▶全日本社会人選手権▶シャトルコックの研究

●**84号**＝300円 ▶石川県家庭婦人大会▶全日本社会人選手権上位戦記録▶良好書紹介

●**85号**＝300円 ▶全日本学生選手権▶第31回国民体育大会▶第3回全日本家庭婦人大会▶渋谷バードクラブ紹介

●**86号**＝300円 ▶76年総決算号

●**87号**＝300円 ▶日本協会の使命と今後の課題▶第5回日中大会報告▶大阪中央YMCAクラブ紹介

●**88号**＝300円 ▶76年全日本総合選手権写真集▶しらぎくクラブ紹介

●**89号**＝300円 ▶76年全日本総合選手権全記録▶直撃インタビュー小島一平選手は語る▶サントリーチームを訪ねて▶シャトルコックの製造工程

●**90号**＝300円 ▶第6回国際競技大会▶プリ、ついにベールをぬぐ▶欧州男子、スマッシュの威力▶第5回全日本実業団対全日本学生

◆**別冊①◆ユーバー杯奪還への道**＝1000円
A5判128ページ、うちカラー16ページ、第7回ユーバー杯大会（ジャカルタ）全記録をはじめ、観戦記、奪還策等を満載。

◆**別冊②◆ヨーロッパ選手に見る実戦テクニック**＝500円　B5判48ページ、うちカラー4ページ。豊富な連続写真と詳しい解説、美しいグラフで構成したすぐ役立つもの。S・プリ、F・デルフス、B・フローマン、M・ロックウッド、チュンチュン、ワジュディらのプレーを小島、栂野尾、池田、銭谷、尾崎、飯野、土田、湯木、栂野尾(悦)がわかりやすく解説。

バックナンバー、別冊のお申込みは、他の用件とは別に、必ずハガキで下記あてお申し込みください。代金は、現品到着後、当方から同封の振替用紙で1週間以内にお振り込み願います。送料は当方で負担いたします。

〈申込先〉
〒150　東京都渋谷区神南1―1―1
岸記念体育会館内・**バドミントン界編集部**
（なお、発送は集中方式となりますので、2～3週間程度かかります。また、このリストの有効期限は昭和53年3月31日までです）

募集します!!　バドミントン界編集部

①クラブ紹介

学校、地域、職場など、あなたのクラブを本誌で紹介してください。原稿用紙にタテ書きで、一行二〇字×一五〇行程度。必ず写真を添えてください。

②決定的瞬間

プレー中の写真を送ってください。大きさはキャビネ判、モノクロに限ります。

③作文

テーマは、「私とバドミントン」。原稿用紙にタテ書きで、四〇〇字詰め一〇枚以内。しめ切りは昭和五三年五月末日。

①クラブ紹介と②決定的瞬間は、順に誌上に掲載させていただきます。③は応募作文を選考のうえ、秀作五篇、佳作五篇を選び、秀作を誌上に掲載させていただきます。また採用の方には、記念品をお送りいたします。なお、応募作品はいずれもお返しできませんのであらかじめコピーをおとりください。

お願いとお知らせ

▼本誌は、昨年4月号でモデルチェンジをしましたが、そのためか、4月以降、ほとんど毎月品切れの状態です。年間購読の皆様には、早目に期限切れの通知を出し、期限切れ後二週間程は確保していますが、それを過ぎますと、品切れとなることが多い状態です。

そこで、期限切れの通知が届きましたら、できるだけ一週間以内に郵便局で手続きをお願いいたします。

編集部でも、もっと早目に通知を出すようにしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

▼今年から期限ごとに順次、宛名カードを更新し、全自動印刷機によって宛名を印刷しはじめました。そこで、新規あるいは継続お申込みのさい、読みづらい住所、氏名にはフリガナをつけていただくようお願いいたします。また郵便番号も必ず記入してください。

▼毎月、「転居先不明」で戻ってくる本誌がいくつかあります。また、カレンダー、バインダーもいくつか返送されてきています。本誌その他の未着は、必ずハガキで編集部あてご連絡ください。

▼バインダーは、最初に製作した分が一か月で品切れとなり、急ぎ第二版を作りました。その際、表紙のレザーを少し変更いたしましたのでご了承ください。

編集室から

◆あけましておめでとうございます。今年はユーバー杯の年、編集部も大いに頑張りたいと思っています。昨年にもまして、ご協力をお願いいたします。

◆今月は、昨年末の〝オールジャパン77〟の結果を中心にお届けします。

全英選手権、世界選手権で活躍した梅野尾夫人がおめでたのため欠場したのは、少し残念ですが、若手選手が各種目で頑張り、実り多い大会となりました。

その筆頭は何といっても、世界の女王・湯木選手をストレートで降した近藤選手です。男まさりとはいってもコートの中でのこと。ふだんは、非常に女らしいお嬢さんです。〝サオリ時代〟の幕開けとなるかどうか。

◆山本洋彦さんのヨーロッパ情報でもお伝えしたように、バドミントンのオリンピック正式採用が、ようやく現実のものとなりつつあるようです。期待して状況を見守りたいと思います。

◆好評連載中の梅野尾悦子さんの「エッコのバドミントンライフ」は、筆者おめでたのため、今月は休ませていただきます。来月からは健康第一で執筆していただきますので、時折休むことがあるかも知れません。ご了承ください。若草の頃には可愛いベビー誕生のお知らせが待っています。

◆では、次号をお楽しみに。

バドミントン界　通巻第99号　1978年1月号　定価 300円

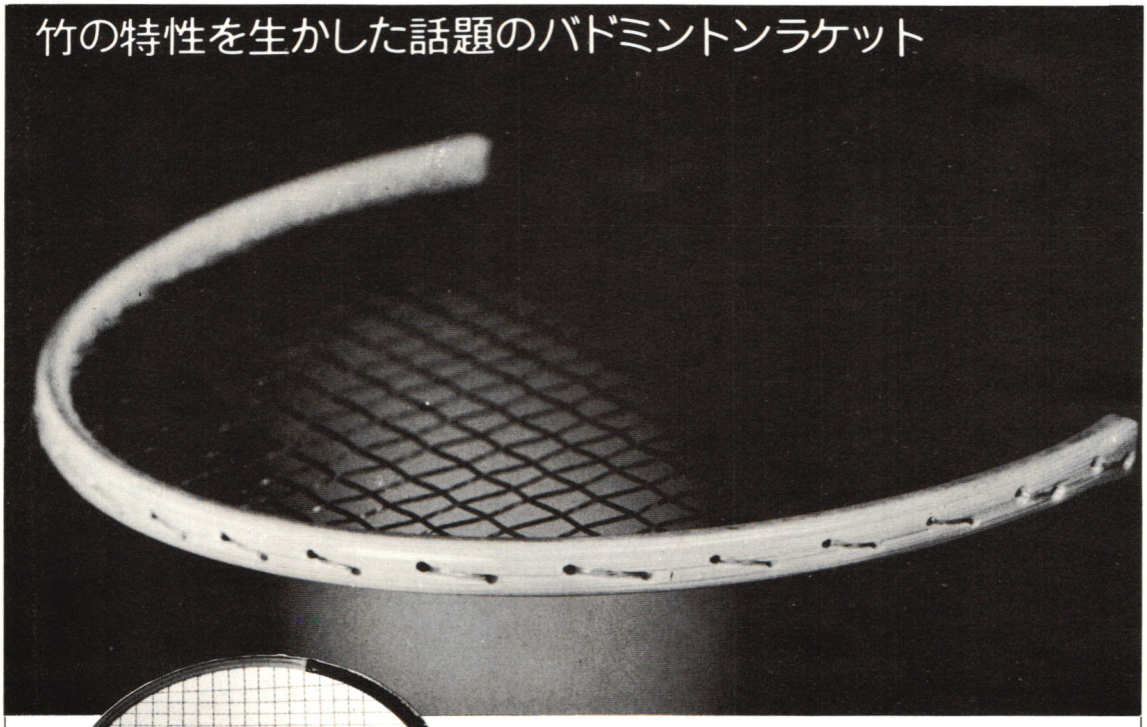
©1978　無断転載を禁ず

昭和53年1月15日発行
編集人／赤星　三樹
発行人／秦　浩

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号 150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111(代表) 内線351
振替　東京5－9525(バドミントン界編集部)

うなる打球/格調のバンブー

竹の特性を生かした話題のバドミントンラケット



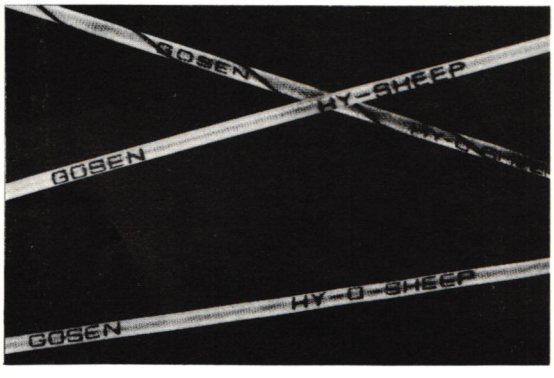


Hy-Thomas

No. B45 ハイ・トーマス(バンブー) ¥4,500　★最高級選手用ロングテーパーシャフト フレーム・カバー付



最後まで勝ち抜くもの/品質保証のビッグなガット

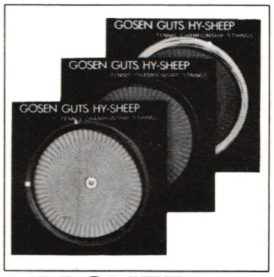




HY-O-SHEEP

No. 1090/1091 ハイ・オー・シープ ¥600

油入特殊ガット最高級品選手用 アンバー・青スパイラル



HY-SHEEP

No. 1080 ハイ・シープ ¥400

選手用(アンバー・赤・青)

株式会社ゴーセン
■本　社●大阪市東区農後町4　☎(06)942-5816 代
■東京支店●東京都台東区蔵前4-14-2　☎(03)862-6576 代
■福岡営業所●福岡市中央区薬院1-4-8　☎(092)712-5247 代

月刊「バドミントン界」1月号
昭和五十三年一月十五日発行（毎月一回十五日発行）
発行所 東京都渋谷区神南一ノ一ノ一 岸記念体育会館内
日本バドミントン協会 定価三〇〇円



目下の話題はカーボネックスセブン。

強烈な反発力が評判のカーボネックス３につづきカーボン・シャフトの先端に、特殊アルミ合金のフレームを持つ新鋭ラケット、カーボネックス7の登場です。カーボン・シャフトの強力なバネ力と、特殊アルミ合金フレームとの力バランスが、すさまじいスマッシュを生みだします。スピードは抜群。そのうえ、スイート・スポットが広いので、シャトルを確実にとらえます。世界の一流プレイヤー達が、力から技へそしてまた力へと移ってきた現在、カーボネックス７はまさに時代への解答。すでにあるウッド・フレームとカーボンシャフトのカーボネックス３とともに、あなたの武器にしてください。

●日本初のこと――このラケットにはRとXの表示があります。Rはレギュラーでスナップ打法用。Xはエキスパートでフルスイング打法用です。

B-8300 Carbonex7

●カーボネックス セブン……￥7,700

YONEX